

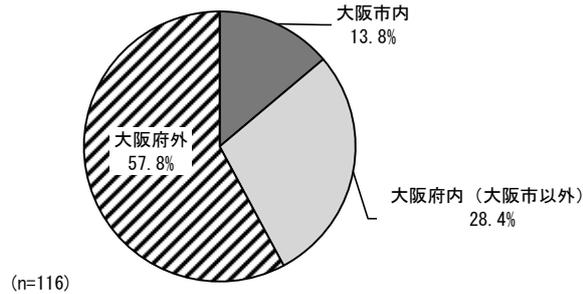
第7章 障がい者（児）基礎調査（入所施設管理者用） 調査結果

1. 施設の概要

(1) 施設の所在地

問1	貴施設の所在地について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
-----------	---------------------------------------	-------------

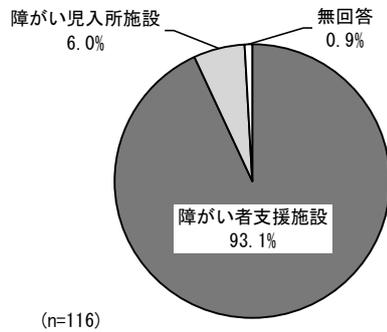
図表 7-1-1 施設の所在地



(2) 施設の種別

問2	貴施設の種別について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
-----------	--------------------------------------	-------------

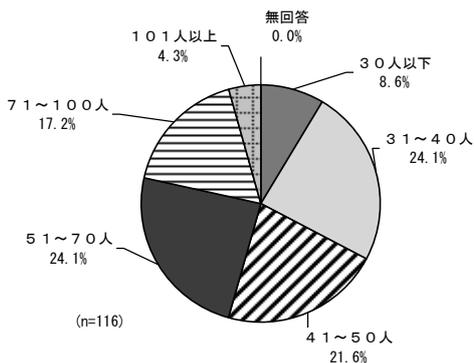
図表 7-1-2 施設の種別



(3) 入所定員

問3	貴施設の入所定員について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
-----------	--	-------------

図表 7-1-3 入所定員



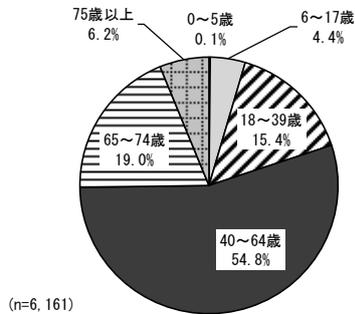
	n	30人以下	31~40人	41~50人	51~70人	71~100人	101人以上	無回答	
全体	116	8.6	24.1	21.6	24.1	17.2	4.3	0.0	
問2 施設の種別	障がい者支援施設	108	8.3	24.1	22.2	22.2	18.5	4.6	0.0
	障がい児入所施設	7	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0

(4) 入所者の年齢構成

問4	貴施設に入所されている方の年齢構成について、次の各年齢層にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
----	--	------

「40～64歳」が54.8%で最も多く、次いで「65～74歳」が19.0%、「18～39歳」が15.4%と続いています。

図表 7-1-4 入所者の年齢構成

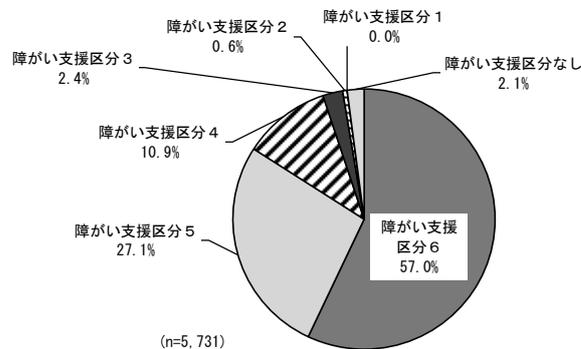


(5) 入所者の障がい支援区分の構成

問5	貴施設に入所されている方の障がい支援区分の構成について、次の各区分にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
----	---	------

「障がい支援区分6」が57.0%で最も多く、次いで「障がい支援区分5」が27.1%、「障がい支援区分4」が10.9%と続いています。

図表 7-1-5 入所者の障がい支援区分の構成

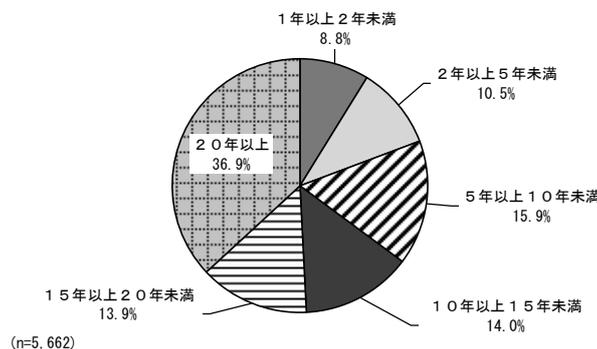


(6) 入所者の入所期間の構成

問6	貴施設に入所されている方の入所期間の構成について、次の期間にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
----	---	------

「20年以上」が36.9%で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が15.9%、「10年以上15年未満」が14.0%と続いています。

図表 7-1-6 入所者の入所期間の構成

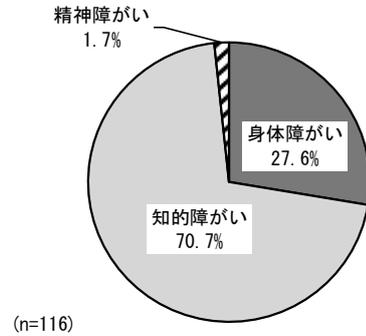


(7) 入所者の最も多い障がいの種別

問7	貴施設に入所されている方について、最も多い障がいの種別は次のうちどれですか。	単一回答
----	--	------

「知的障がい」が70.7%で最も多く、次いで「身体障がい」が27.6%、「精神障がい」が1.7%と続いています。

図表 7-1-5 入所者の最も多い障がいの種別

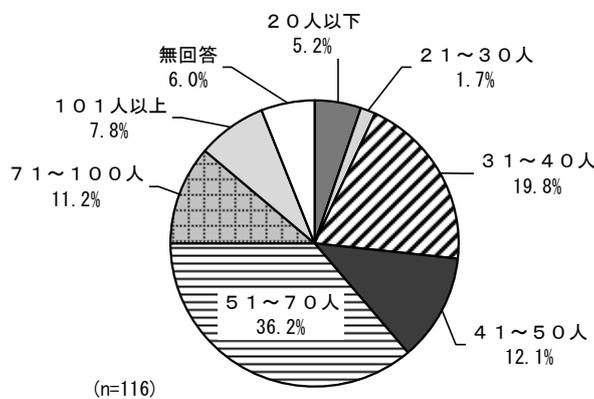


(8) 日中活動系サービスの利用定員

問8	貴施設の主たる日中活動系サービスの利用定員について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
----	--	------

「51～70人」が36.2%で最も多く、次いで「31～40人」が19.8%、「41～50人」が12.1%と続いています。

図表 日中活動系サービスの利用定員



		n	20人以下	21～30人	31～40人	41～50人	51～70人	71～100人	101人以上	無回答
全体		116	5.2	1.7	19.8	12.1	36.2	11.2	7.8	6.0
問2 施設の種別	障がい者支援施設	108	2.8	1.9	21.3	12.0	38.9	12.0	8.3	2.8
	障がい児入所施設	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1

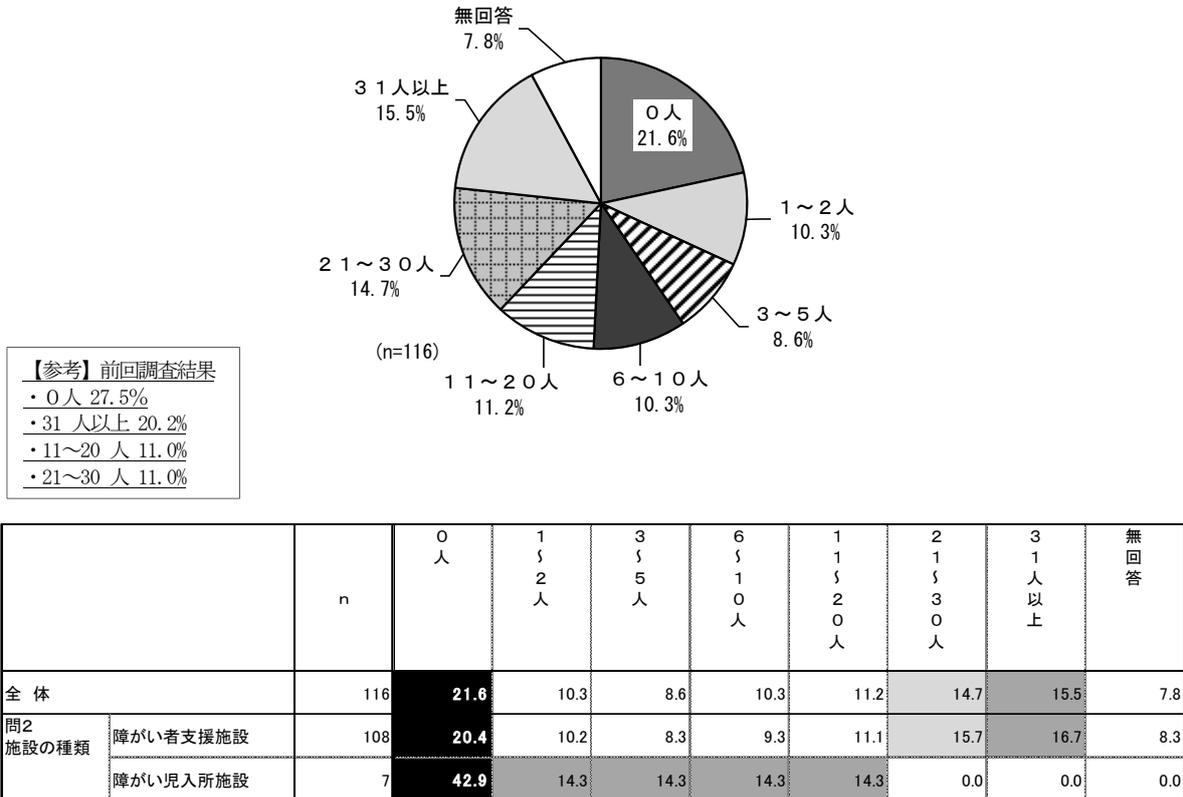
2. 強度行動障がいのある方への支援について

(1) 強度行動障がいのある方の入所者数

問9	貴施設において、強度行動障がいのある方の入所者数	単一回答
----	--------------------------	------

「0人」が21.6%で最も多く、次いで「31人以上」が15.5%、「21人～30人」が14.7%と続いています。

図表 7-2-1 強度行動障がいのある方の入所者数

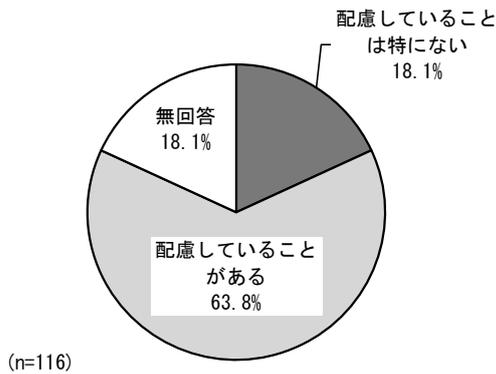


(2) 強度行動障がいのある方への配慮

問10①	貴施設において、強度行動障がいのある方に対して配慮していることはありますか。	単一回答
------	--	------

前回同様「配慮していることがある」が63.8%で最も多く、次いで「配慮していることは特にない」が18.1%と続いています。

図表 7-2-2 強度行動障がいのある方への配慮



	n	配慮していることは特にない	配慮していることがある	無回答
全体	116	18.1	63.8	18.1
問2 施設の種類				
障がい者支援施設	108	16.7	64.8	18.5
障がい児入所施設	7	42.9	42.9	14.3

【参考】前回調査結果
 ・配慮していることがある 57.8%
 ・配慮していることは特にない 22.9%

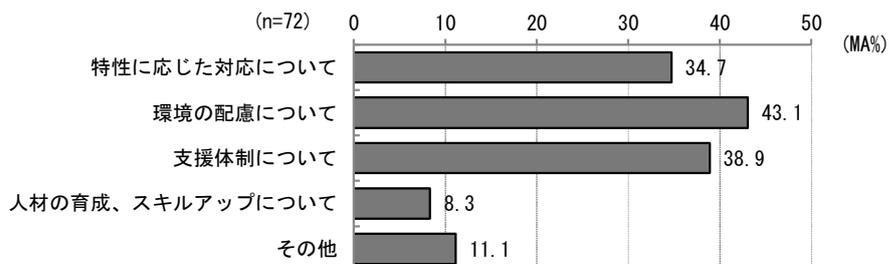
(3) 強度行動障がいのある方への配慮についての具体的内容

問10②	配慮している具体的なこと	自由記述
------	--------------	------

「環境の配慮について」が43.1%で最も多く、次いで「支援体制について」が38.9%、「特性に応じた対応について」が34.7%と続いています。

図表 7-2-3 強度行動障がいのある方への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	72 (62.0%)	44 (38.0%)



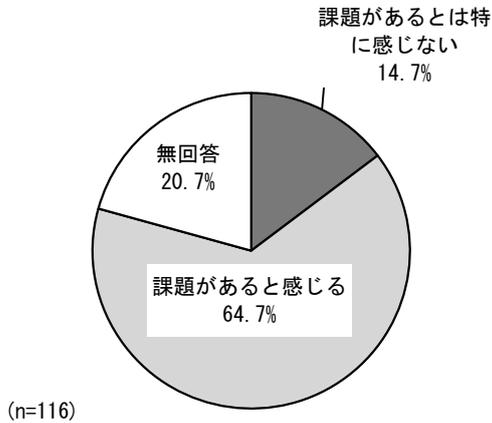
・職員に強度行動障がい講習を受ける事を推奨している。重度支援加算も算定することで、重度の方の支援への意識付け、位置付けを明確にした。またスタッフの知識、技術の向上にも役立っていると思う。

(4) 強度行動障がいのある方への支援の課題

問 1 1 ①	貴施設における強度行動障がいのある方に対する支援として、課題があると思われること	単一回答
---------	--	------

前回同様「課題があると感じる」が64.7%で最も多く、次いで「課題があるとは特に感じない」が14.7%と続いています。

図表 7-2-4 強度行動障がいのある方への支援の課題



		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		116	14.7	64.7	20.7
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	14.8	63.9	21.3
	障がい児入所施設	7	14.3	71.4	14.3

【参考】前回調査結果
 ・課題があると感じる 65.1%
 ・課題があるとは特に感じない 15.6%

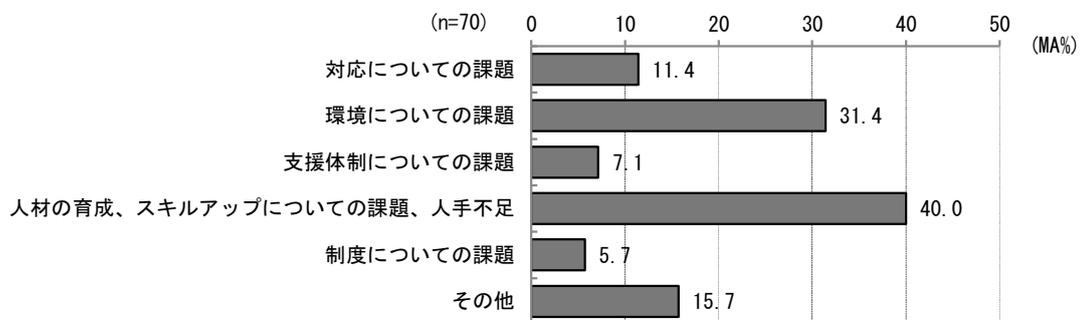
(5) 強度行動障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

問 1 1 ②	課題があると感じていること	自由記述
---------	---------------	------

「人材の育成、スキルアップについての課題、人手不足」が40.0%で最も多く、次いで「環境についての課題」が31.4%、「その他」が15.7%と続いています。

図表 7-2-5 強度行動障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	70 (60.3%)	46 (39.7%)



- ・興奮時に気持ち(情緒)を静める(鎮める)スペースがない。
- ・職員の精神的な負担が大きい。
- ・他害行為への対応(スタッフのケガなど)。
- ・それぞれのペースに合わせる事が出来れば調子を崩す事も減少すると思うが、人間的な限界がある点。

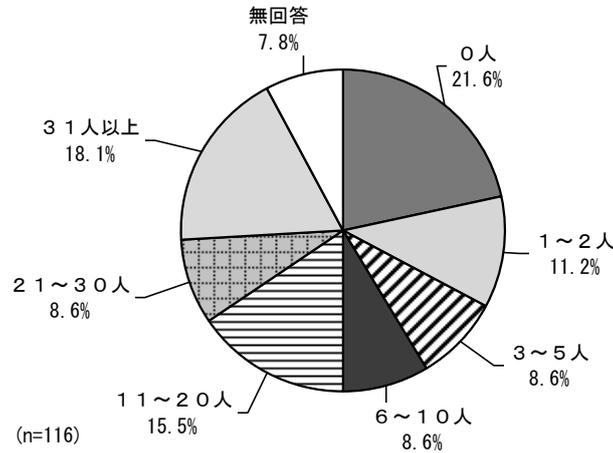
3. 発達障がいのある方への支援について

(1) 発達障がいのある方の入所者数

問12	貴施設において、発達障がいのある方の入所者数	単一回答
-----	------------------------	------

「0人」が21.6%で最も多く、次いで「31人以上」が18.1%、「11~20人」が15.5%と続いています。

図表 7-3-1 発達障がいのある方の入所者数



【参考】前回調査結果
 ・0人 23.9%
 ・11~20人 12.8%
 ・1人~2人 11.0%

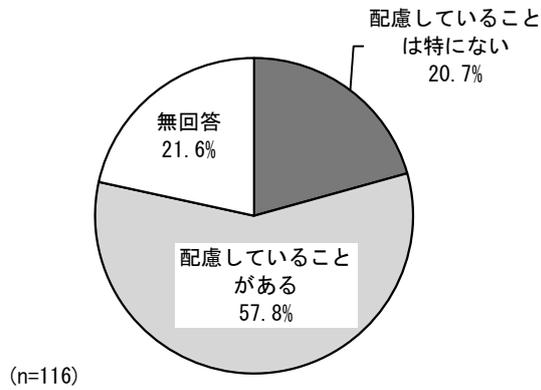
	n	0人	1 ~ 2人	3 ~ 5人	6 ~ 10人	11 ~ 20人	21 ~ 30人	31人以上	無回答	
全体	116	21.6	11.2	8.6	8.6	15.5	8.6	18.1	7.8	
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	23.1	11.1	9.3	7.4	15.7	7.4	17.6	8.3
	障がい児入所施設	7	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0

(2) 発達障がいのある方への配慮

問13①	貴施設において、発達障がいのある方に対して、配慮していることはありますか。	単一回答
------	--	-------------

「配慮していることがある」が57.8%で最も多く、次いで「配慮していることは特にない」が20.7%と続いています。

図表 7-3-2 発達障がいのある方への配慮



		n	配慮していることは特にない	配慮していることがある	無回答
全体		116	20.7	57.8	21.6
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	20.4	56.5	23.1
	障がい児入所施設	7	28.6	71.4	0.0

【参考】 前回調査結果
 ・配慮していることがある 48.6%
 ・配慮していることは特にない 23.9%

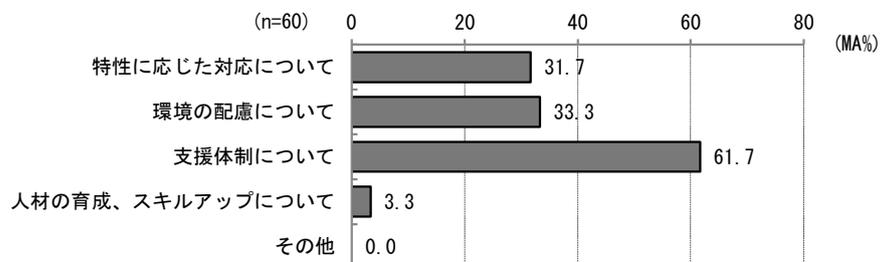
(3) 発達障がいのある方への配慮についての具体的内容

問13②	配慮している具体的なこと	自由記述
------	---------------------	-------------

「支援体制について」が61.7%で最も多く、次いで「環境の配慮について」が33.3%、「特性に応じた対応について」が31.7%と続いています。

図表 7-3-3 発達障がいのある方への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	60 (51.7%)	56 (48.3%)



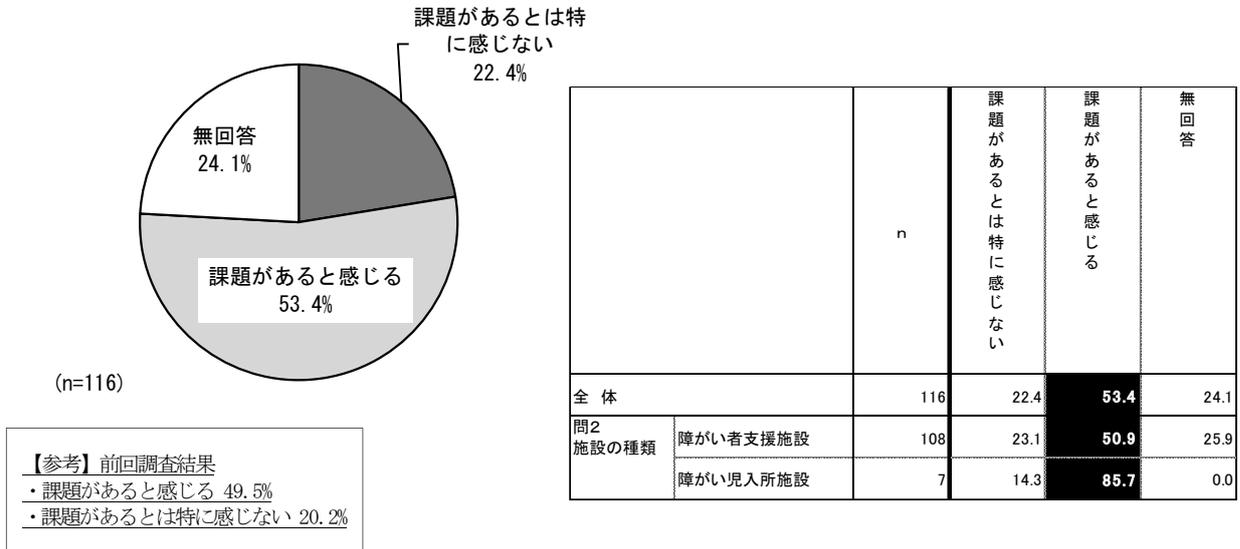
- ・様々な経験を積めるよう考えている。
- ・こだわりに対しての対応を、できるだけ許容しながら安全を優先した支援にあたっている。
- ・個別対応(時間・場所・活動)。

(4) 発達障がいのある方への支援の課題

問14①	貴施設における発達障がいのある方に対する支援として、課題があると思われること	単一回答
------	--	------

前回同様「課題があると感じる」が53.4%で最も多く、次いで「課題があるとは特に感じない」が22.4%と続いています。

図表 7-3-4 発達障がいのある方への支援の課題

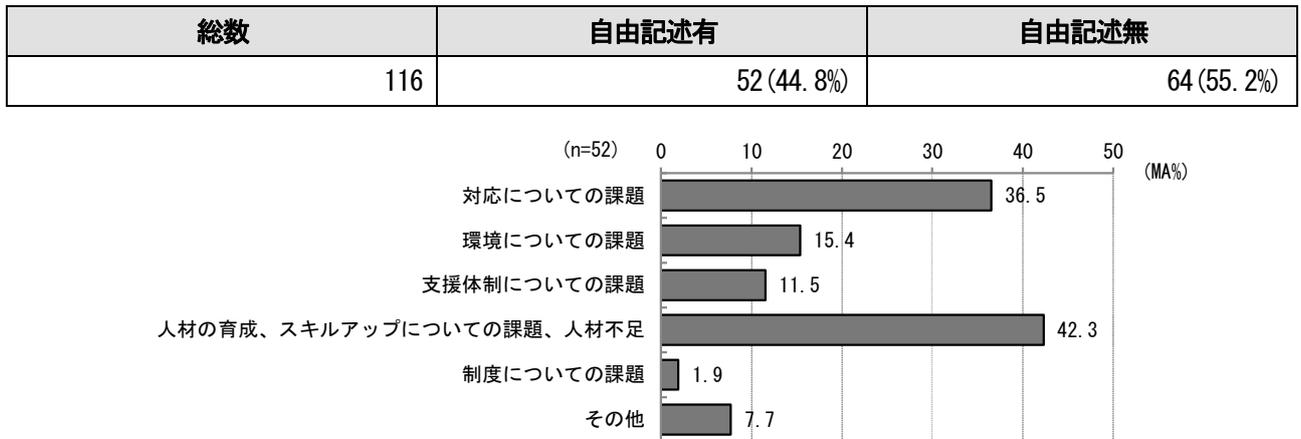


(5) 発達障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

問14②	課題があると感じていること	自由記述
------	---------------	------

「人材の育成、スキルアップについての課題、人材不足」が42.3%で最も多く、次いで「対応についての課題」が36.5%、「環境についての課題」が15.4%と続いています。

図表 7-3-5 発達障がいのある方への支援の課題についての具体的内容



- ・個別に細かく対応するのが望ましいと思われるが、集団生活の中では難しい場面がある。
- ・職員の専門性、スキル。
- ・利用者間のトラブルが何よりの課題。

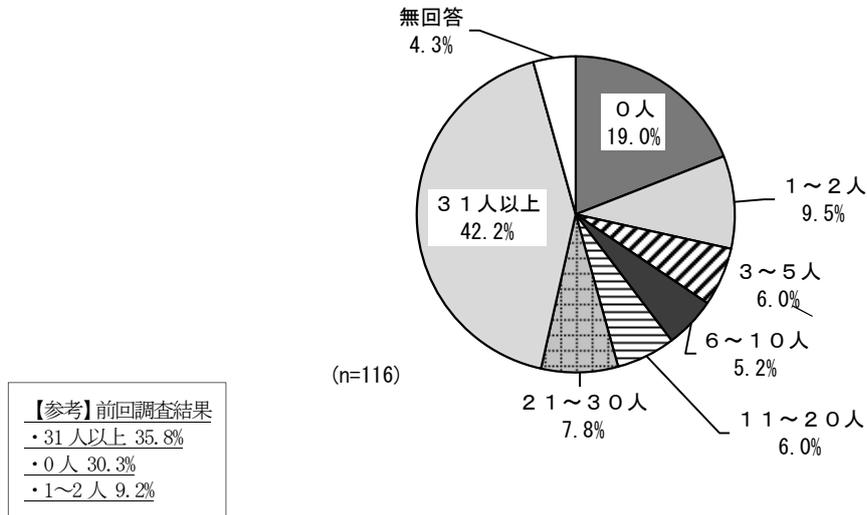
4. 医療的ケアの必要な方への支援について

(1) 医療的ケアの必要な方の入所者数

問15	貴施設において、医療的ケアの必要な方の入所者数	単一回答
-----	-------------------------	------

前回同様「31人以上」が42.2%で最も多く、次いで「0人」が19.0%、「1～2人」が9.5%と続いています。

図表 7-4-1 医療的ケアの必要な方の入所者数



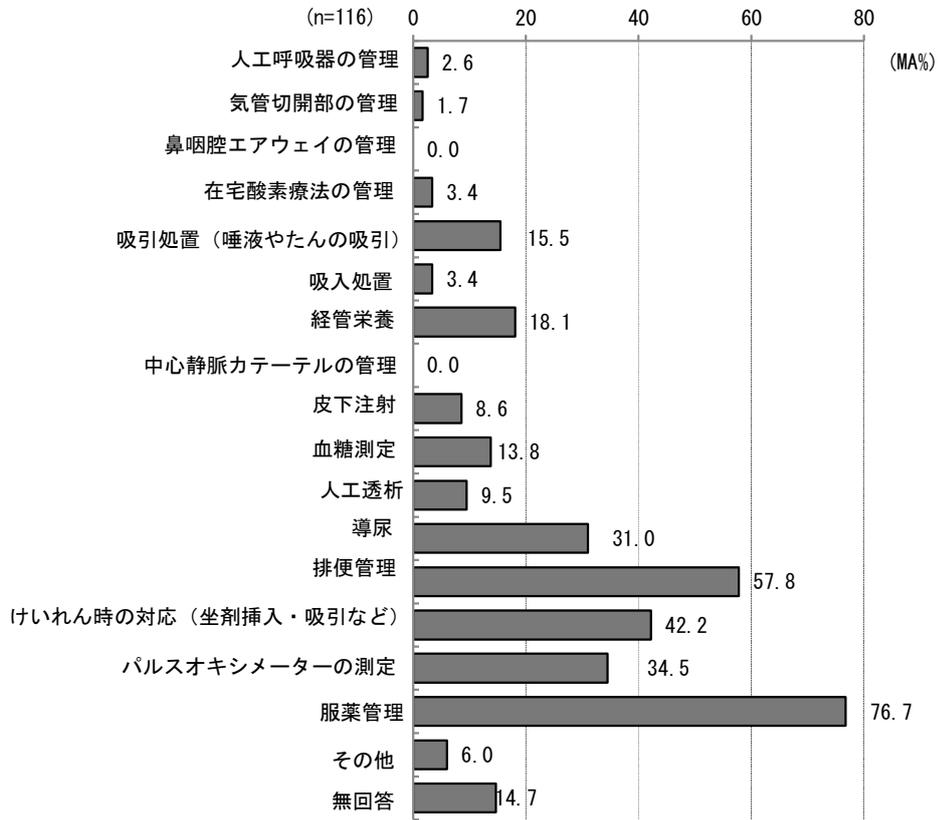
		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		116	19.0	9.5	6.0	5.2	6.0	7.8	42.2	4.3
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	18.5	9.3	5.6	4.6	6.5	8.3	43.5	3.7
	障がい児入所施設	7	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3

(2) 必要としている医療的ケア

問16	現在、貴施設の入所者が必要としている医療的ケア	複数回答
-----	-------------------------	------

前回同様「服薬管理」が76.7%で最も多く、次いで「排便管理」が57.8%、「けいれん時の対応（坐剤挿入・吸引など）」が42.2%と続いています。

図表 7-4-2 必要としている医療的ケア



【参考】前回調査結果

- ・服薬管理 76.1%
- ・導尿 34.9%
- ・吸引処置 23.9%

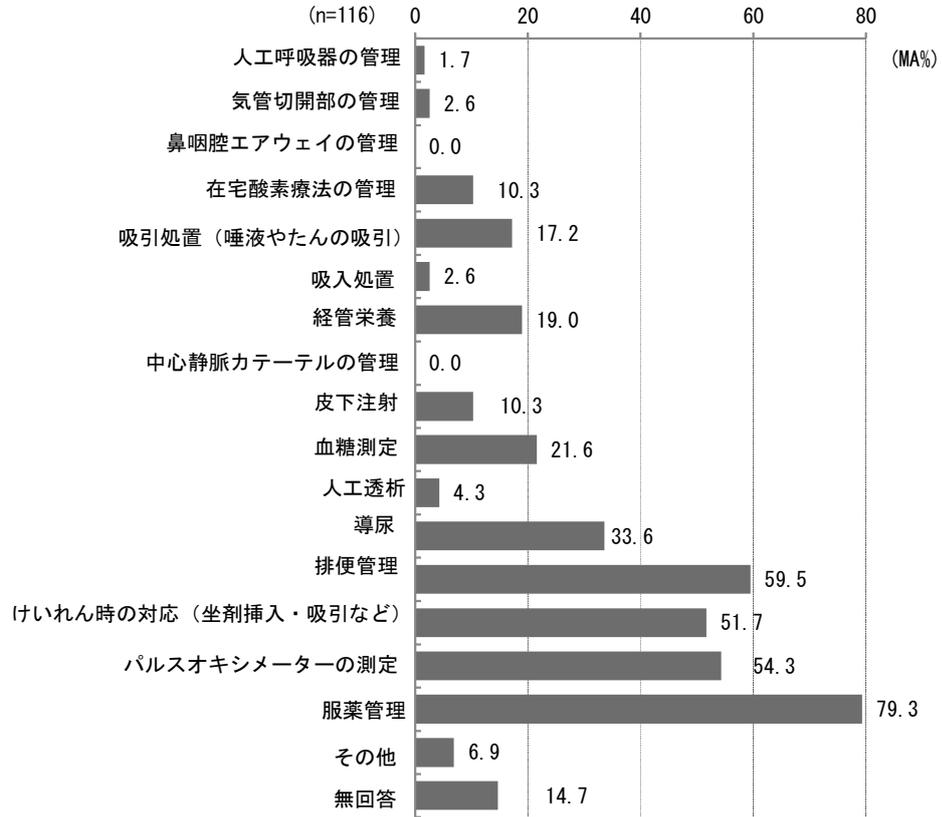
		n	人工呼吸器の管理	気管切開部の管理	鼻咽腔エアウェイの管理	在宅酸素療法の管理	吸引処置 (唾液やたんの吸引)	吸入処置	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	人工透析	導尿	排便管理	けいれん時の対応 (坐剤挿入・吸引など)	パルスオキシメーターの測定	服薬管理	その他	無回答
全体		116	2.6	1.7	0.0	3.4	15.5	3.4	18.1	0.0	8.6	13.8	9.5	31.0	57.8	42.2	34.5	76.7	6.0	14.7
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	1.9	1.9	0.0	3.7	16.7	3.7	19.4	0.0	7.4	14.8	9.3	33.3	60.2	42.6	35.2	76.9	6.5	14.8
	障がい児入所施設	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3	85.7	0.0	14.3

(3) 対応可能な医療的ケア

問17	貴施設において対応可能な医療的ケア	複数回答
-----	-------------------	------

「服薬管理」が79.3%で最も多く、次いで「排便管理」が59.5%、「パルスオキシメーターの測定」が54.3%と続いています。

図表 7-4-3 対応可能な医療的ケア



【参考】前回調査結果
 ・服薬管理 78.0%
 ・導尿 38.5%
 ・吸引処置 30.3%

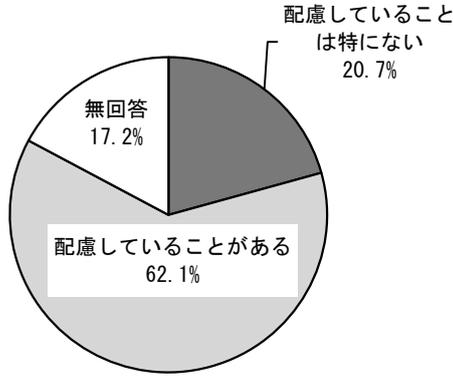
		n	人工呼吸器の管理	気管切開部の管理	鼻咽腔エアウェイの管理	在宅酸素療法の管理	吸引処置（唾液やたんの吸引）	吸入処置	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	人工透析	導尿	排便管理	けいれん時の対応（坐剤挿入・吸引など）	パルスオキシメーターの測定	服薬管理	その他	無回答
全体		116	1.7	2.6	0.0	10.3	17.2	2.6	19.0	0.0	10.3	21.6	4.3	33.6	59.5	51.7	54.3	79.3	6.9	14.7
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	1.9	2.8	0.0	10.2	18.5	2.8	20.4	0.0	10.2	23.1	4.6	36.1	63.0	52.8	53.7	78.7	6.5	14.8
	障がい児入所施設	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	57.1	85.7	14.3	14.3

(4) 医療的ケアの必要な方への配慮

問18①	貴施設において、医療的ケアの必要な方に対して配慮していることはありますか。	単一回答
------	---------------------------------------	------

前回同様「配慮していることがある」が62.1%で最も多く、次いで「配慮していることは特にない」20.7%と続いています。

図表 7-4-4 医療的ケアの必要な方への配慮



		n	配慮していることは特にない	配慮していることがある	無回答
全体		116	20.7	62.1	17.2
問2 施設の種類の	障がい者支援施設	108	20.4	62.0	17.6
	障がい児入所施設	7	28.6	57.1	14.3

【参考】前回調査結果

- ・配慮していることがある 55.0%
- ・配慮していることは特にない 25.7%

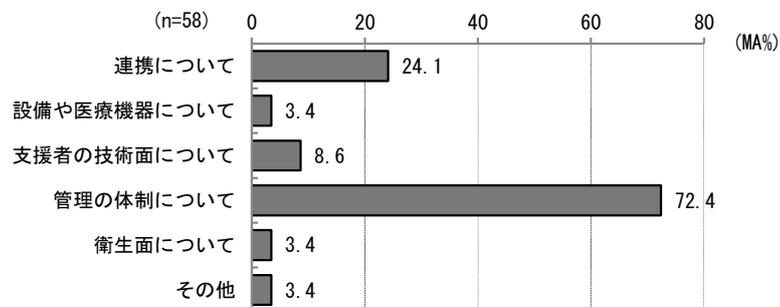
(5) 医療的ケアの必要な方への配慮についての具体的内容

問18②	配慮している具体的なこと	自由記述
------	--------------	------

「管理の体制について」が72.4%で最も多く、次いで「連携について」が24.1%、「支援者の技術面について」が8.6%と続いています。

図表 7-4-5 医療的ケアの必要な方への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	58 (50.0%)	58 (50.0%)



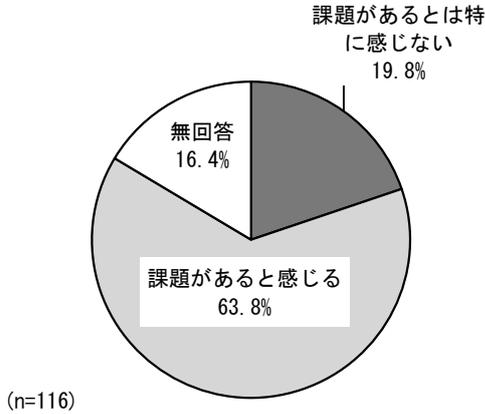
- ・近隣病院との連携・病気に対する知識を職員間で共有するなど
- ・夜間の職員が待機している場所の近くで居室を配置している。

(6) 医療的ケアの必要な方への支援の課題

問19①	貴施設における医療的ケアの必要な方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。	単一回答
------	--	------

前回同様「課題があると感じる」が63.8%で最も多く、次いで「課題があるとは特に感じない」が19.8%と続いています。

図表 7-4-6 医療的ケアの必要な方への支援の課題



		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		116	19.8	63.8	16.4
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	18.5	64.8	16.7
	障がい児入所施設	7	42.9	42.9	14.3

【参考】前回調査結果
 ・課題があると感じる 60.6%
 ・課題があるとは特に感じない 18.3%

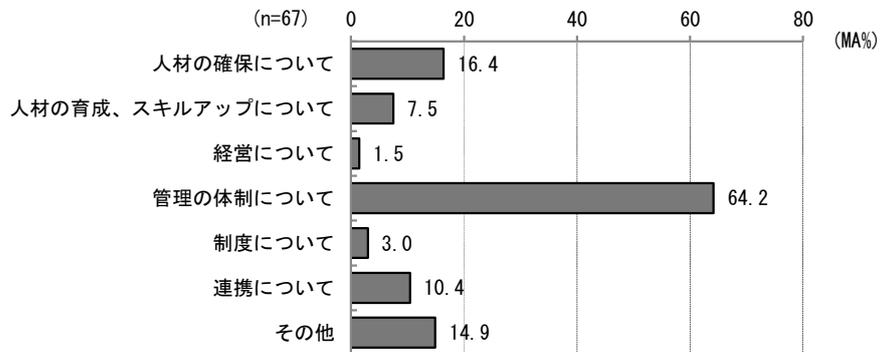
(7) 医療的ケアの必要な方への支援の課題についての具体的内容

問19②	課題があると感じていること	自由記述
------	---------------	------

「管理の体制について」が64.2%で最も多く、次いで「人材の確保について」が16.4%、「その他」が14.9%と続いています。

図表 7-4-7 医療的ケアの必要な方への支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	67 (57.8%)	49 (42.2%)



- ・医療度が高くなった場合の移行先の確保。
- ・看護職員の不足と医療機器の不足。医師の勤務日数が不足。

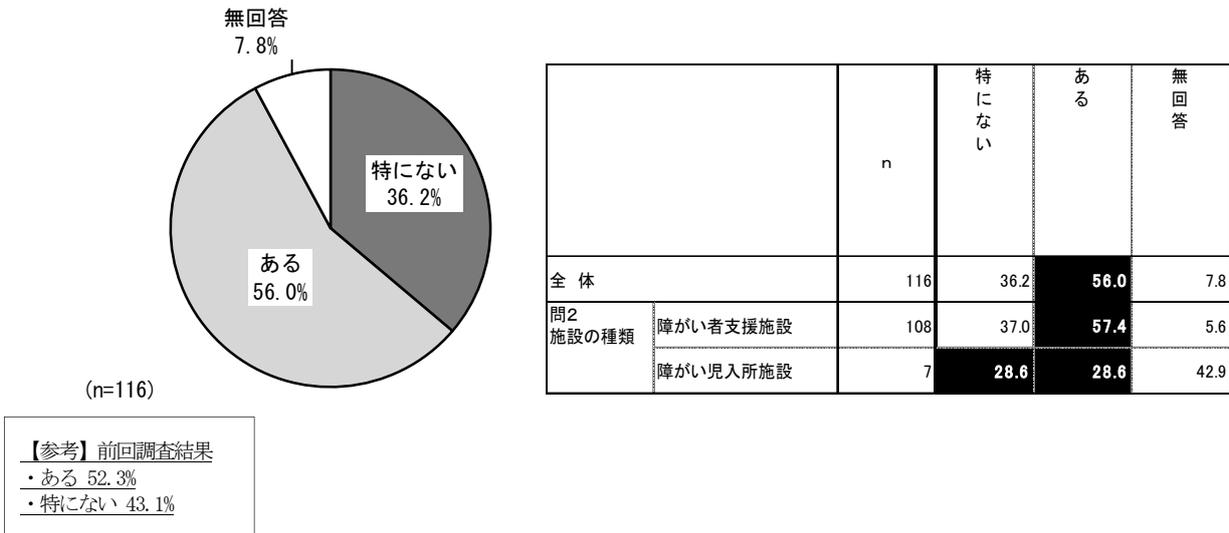
5. 日中の支援について

(1) 日中支援で特に配慮していること

問20①	貴施設において、日中の支援で特に配慮していることや力点を置いて取り組んでいること（特色のある取り組みをされていること）はありますか。	単一回答
------	--	------

前回同様「ある」が56.0%で最も多く、次いで「特にない」が36.2%と続いています。

図表 7-5-1 日中支援で特に配慮していること



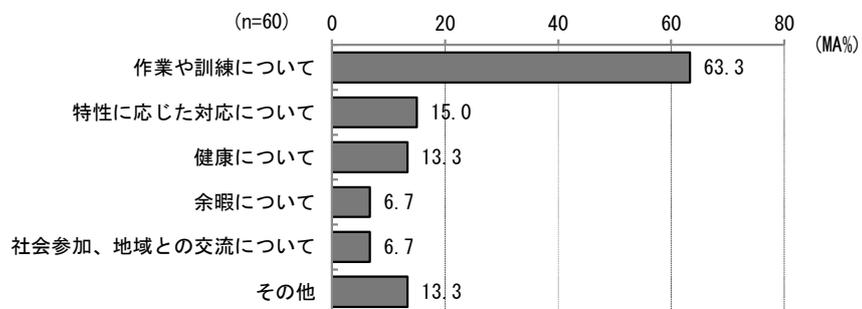
(2) 日中支援で特に配慮していることについての具体的内容

問20②	具体的なこと	自由記述
------	--------	------

「作業や訓練について」が63.3%で最も多く、次いで「特性に応じた対応について」が15.0%、「健康について」が13.3%と続いています。

図表 7-5-2 日中支援で特に配慮していることについての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	60 (51.7%)	56 (48.3%)



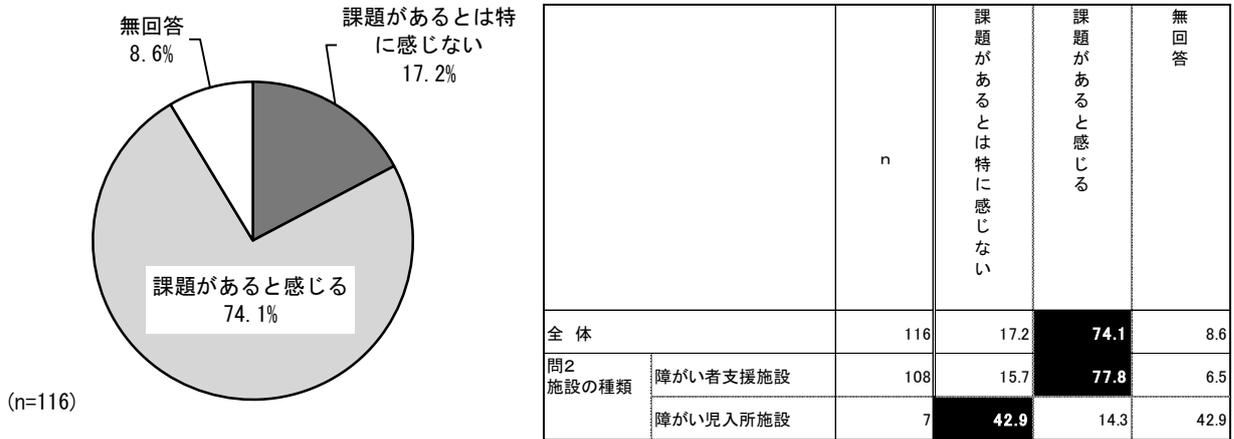
- ・生活介護で利用者の方に楽しんでもらえるようなイベントをたくさん行っている。
- ・地域活動に参加したり、段階に合わせた作業の取り組み。

(3) 日中支援の課題

問2 1①	貴施設における日中の支援として、課題があると思われることはありませんか。	単一回答
-------	--------------------------------------	------

前回同様「課題があると感じる」が74.1%で最も多く、次いで「課題があるとは特に感じない」が17.2%と続いています。

図表 7-5-3 日中支援の課題



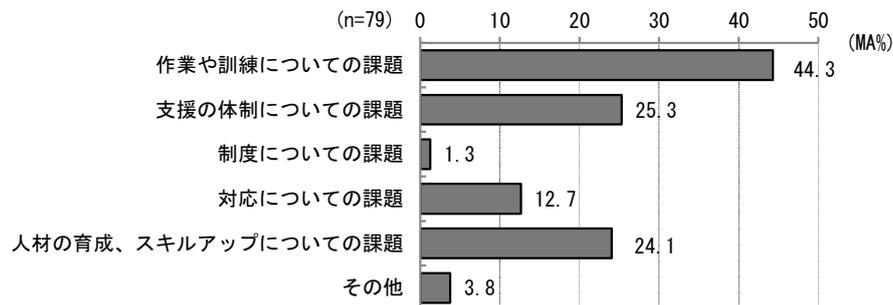
(4) 日中支援の課題についての具体的内容

問2 1②	課題があると感じていること	自由記述
-------	---------------	------

「作業や訓練についての課題」が44.3%で最も多く、次いで「支援の体制についての課題」が25.3%、「人材の育成、スキルアップについての課題」が24.1%と続いています。

図表 7-5-4 日中支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	79 (68.1%)	37 (31.9%)



- ・日中の支援がマンネリ化している。
- ・職員不足により、本来行いたい支援ができない。
- ・コロナによる活動自粛により経験する機会が奪われてしまうこと。

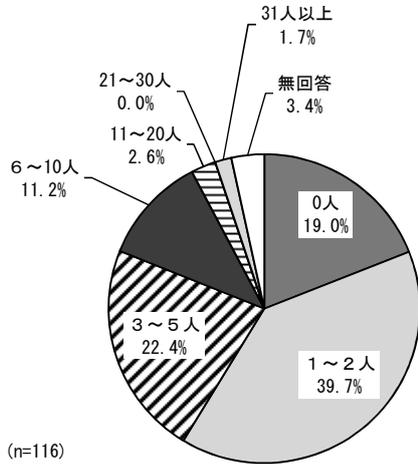
6. 地域移行について

(1) 退所された人数

問2 2 ①	昨年度（令和3年度中）に貴施設を退所された人数を記入してください。	数値記入
---------------	--	-------------

「1～2人」が39.7%で最も多く、次いで「3～5人」が22.4%、「0人」が19.0%と続いています。

図表 7-6-1 退所された人数



		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		116	19.0	39.7	22.4	11.2	2.6	0.0	1.7	3.4
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	20.4	40.7	23.1	8.3	1.9	0.0	1.9	3.7
	障がい児入所施設	7	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0

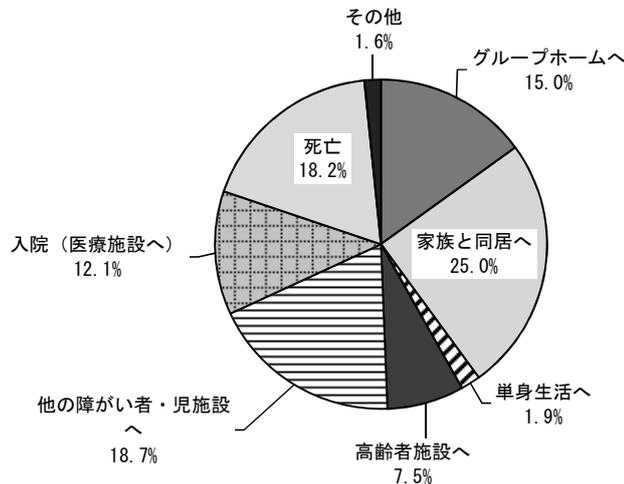
【参考】前回調査結果
 ・1～2人 38.5%
 ・3～5人 22.0%
 ・0人 17.4%

(2) 退所された人数の内訳

問2 2 ②	前問①で記入された人数の内訳	数値記入
---------------	-----------------------	-------------

「家族と同居へ」が25.0%で最も多く、次いで「他の障がい者・児施設へ」が18.7%、「死亡」が18.2%と続いています。

図表 7-6-2 退所された人数の内訳



【参考】前回調査結果
 ・家族と同居 34.4%
 ・死亡 17.5%
 ・入院（医療施設へ） 13.7%

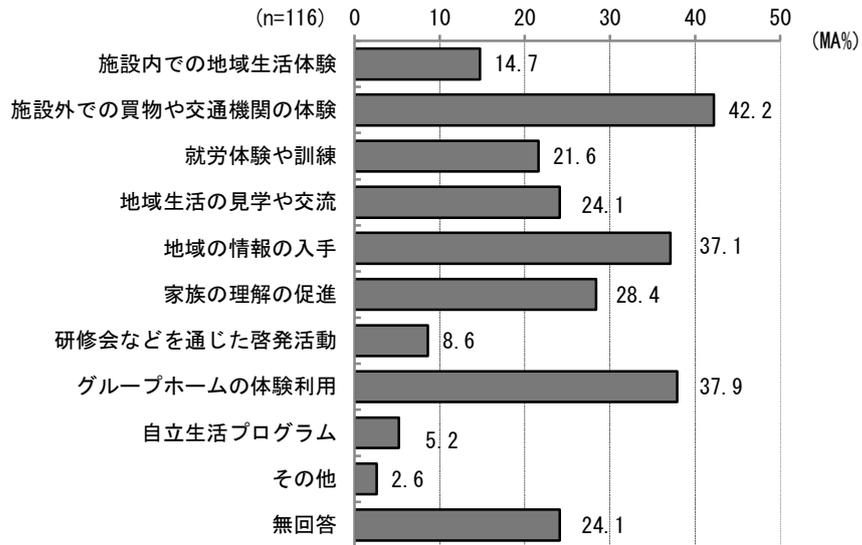
		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		116	19.0	39.7	22.4	11.2	2.6	0.0	1.7	3.4
問2 施設の種類	障がい者支援施設	108	20.4	40.7	23.1	8.3	1.9	0.0	1.9	3.7
	障がい児入所施設	7	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0

(3) 地域移行に向けた取り組み

問23	貴施設が取り組んでいる地域移行に向けた取り組み内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

「施設外での買い物や交通機関の体験」が42.2%で最も多く、次いで「グループホームの体験利用」が37.9%、「地域の情報の入手」が37.1%と続いています。

図表 7-6-3 地域移行に向けた取り組み



【参考】前回調査結果

- ・施設外での買い物や交通機関の体験 61.5%
- ・地域の情報の入手 43.1%
- ・家族の理解 35.8%

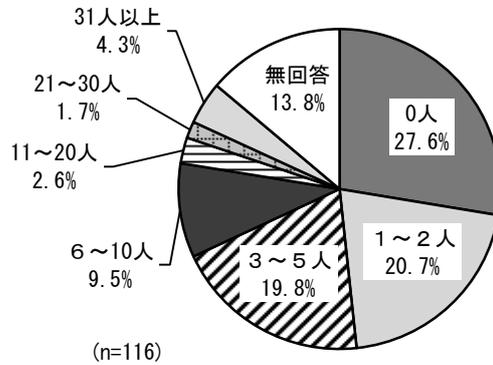
問2 施設の種類	n	施設内での地域生活体験	施設外での買い物や交通機関の体験	就労体験や訓練	地域生活の見学や交流	地域の情報の入手	家族の理解の促進	研修会などを通じた啓発活動	グループホームの体験利用	自立生活プログラム	その他	無回答
		全体	116	14.7	42.2	21.6	24.1	37.1	28.4	8.6	37.9	5.2
障がい者支援施設	108	14.8	38.0	17.6	23.1	35.2	29.6	9.3	34.3	5.6	2.8	25.9
障がい児入所施設	7	14.3	100.0	71.4	42.9	57.1	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(4) 地域移行できると考えられる人数

問24①	貴施設において、地域移行できると考えられる方は何人いますか。	数値記入
------	--------------------------------	------

「0人」が27.6%で最も多く、次いで「1～2人」が20.7%、「3～5人」が19.8%と続いています。

図表 7-6-4 地域移行できると考えられる人数

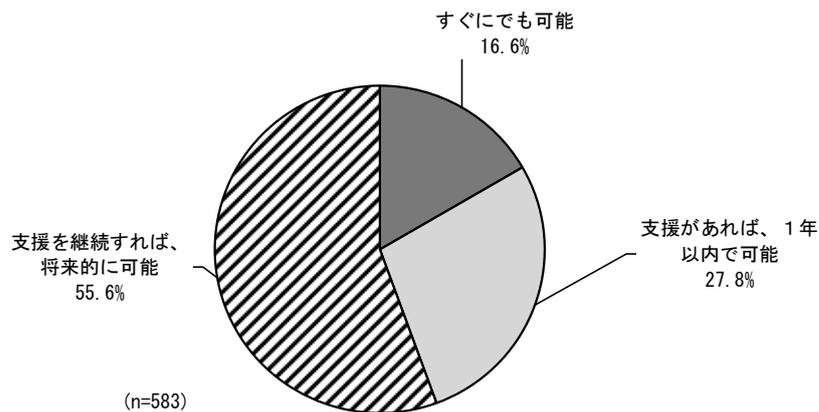


(5) 人数の内訳

問24②	前問①で記入された人数の内訳	数値記入
------	----------------	------

「支援を継続すれば、将来的に可能」が55.6%で最も多く、次いで「支援があれば、1年以内で可能」が27.8%、「すぐにでも可能」が16.6%と続いています。

図表 7-6-5 人数の内訳

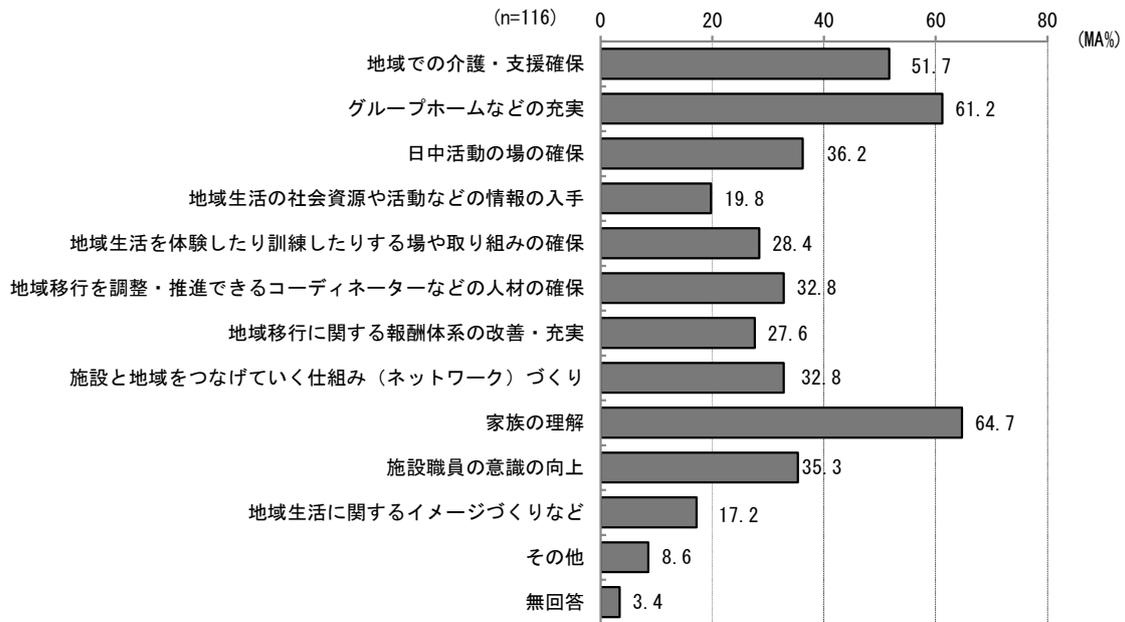


(6) 地域移行を進めるうえでの課題

問25①	貴施設において、地域移行を進めていくうえで課題であると思われることは何ですか。	複数回答
------	---	------

「家族の理解」が64.7%で最も多く、次いで「グループホームなどの充実」が61.2%、「地域での介護・支援確保」が51.7%と続いています。

図表 7-6-6 地域移行を進めるうえでの課題



【参考】前回調査結果
 ・家族の理解 62.4%
 ・地域での介護・支援確保 58.7%
 ・グループホームなどの充実 56.9%

	n	地域での介護・支援確保	グループホームなどの充実	日中活動の場の確保	地域生活の社会資源や活動	地域生活を体験したり訓練したりする場や取り組みの確保	地域移行を調整・推進できる人材の確保	地域移行に関する報酬体系の改善・充実	施設と地域をつなげていく仕組み（ネットワーク）づくり	家族の理解	施設職員の意識の向上	地域生活に関するイメージづくりなど	その他	無回答
全体	116	51.7	61.2	36.2	19.8	28.4	32.8	27.6	32.8	64.7	35.3	17.2	8.6	3.4
問2 施設の種類														
障がい者支援施設	108	50.0	59.3	35.2	19.4	26.9	30.6	25.0	31.5	66.7	34.3	16.7	9.3	3.7
障がい児入所施設	7	71.4	85.7	42.9	28.6	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	28.6	0.0	0.0

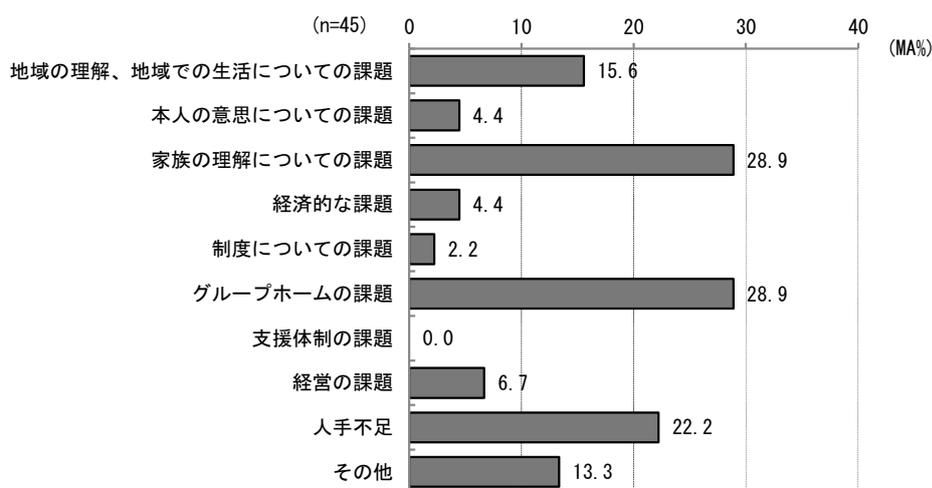
(7) 地域移行を進めるうえでの課題についての具体的内容

問25②	課題があると感じていること	自由記述
------	---------------	------

「家族の理解についての課題」・「グループホームの課題」が28.9%で最も多く、次いで「人手不足」が22.2%と続いています。

図表 7-6-7 地域移行を進めるうえでの課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
116	45 (38.8%)	71 (61.2%)



- ・ 立地、グループホーム建設(個別的配慮をするための財政的支援)へのサポート及び、困難ケース(強度行動障がい)支援のスキルを磨くサポート(定期的な継続的な内容)。
- ・ 能力的には、支援があれば、地域生活を送れると思う利用者は沢山いるが、高齢化している事と、家族の理解を得るのが難しい(やっとの思いで入所できたという気持ちを持たれている)。
- ・ 人手不足。
- ・ 周辺住民の理解を得ること。
- ・ 地域生活を体験したり、訓練したりする場が不十分。

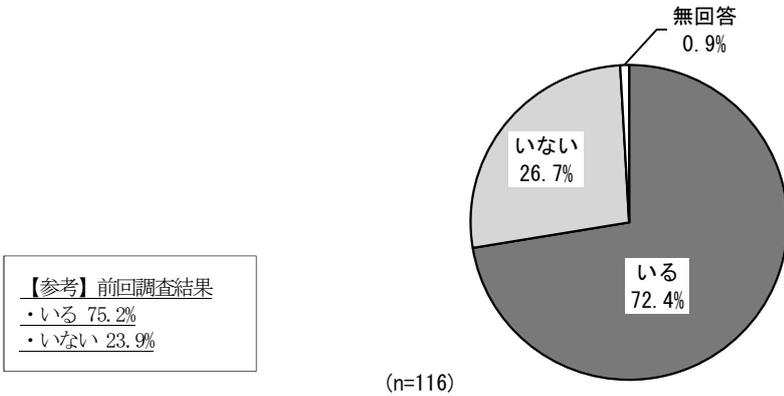
7. 短期入所の利用状況について

(1) 短期入所を継続している人数

問26①	貴施設において、短期入所を繰り返し継続的に利用している方はいますか。	単一回答
-------------	---	-------------

前回同様「いる」が72.4で最も多く、次いで「いない」が26.7%と続いています。

図表 7-7-1 短期入所を継続している人数

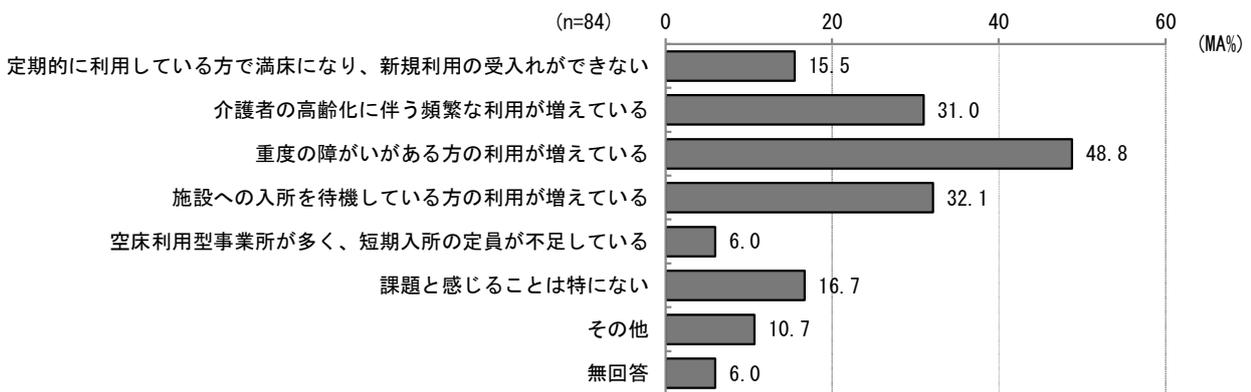


(2) 短期入所を継続している方への課題について

問26②	前問①で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。 課題と感ずること	複数回答
-------------	---	-------------

「重度の障がいがある方の利用が増えている」が48.8%で最も多く、次いで「施設への入所を待機している方の利用が増えている」が32.1%、「介護者の高齢化に伴う頻繁な利用が増えている」が31.0%と続いています。

図表 7-7-2 短期入所を継続している方への課題について

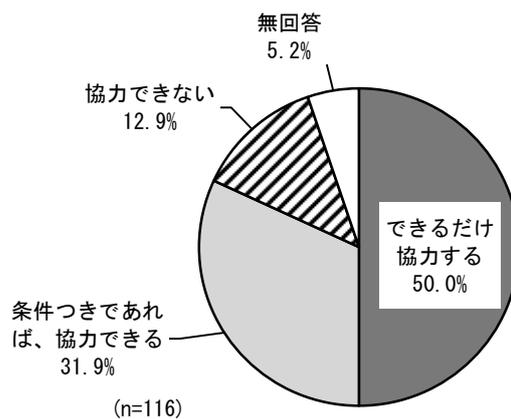


(3) 緊急的な短期入所の受け入れについて

問27	地域で生活している方が、介護者の急病など緊急的に短期入所を利用する必要が生じることがあります。そのような場合に、受け入れに協力していただくことは可能ですか。	単一回答
-----	--	------

「できるだけ協力する」が50.0%で最も多く、次いで「条件つきであれば、協力できる」が31.9%、「協力できない」が12.9%と続いています。

図表 7-7-3 緊急的な短期入所の受け入れについて



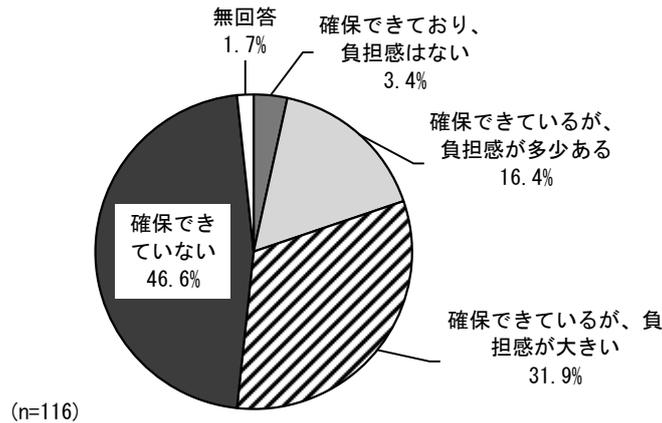
8. 人材確保・育成などについて

(1) 人材確保の状況と負担感について

問28	貴施設における人材確保の状況と負担感について	単一回答
-----	------------------------	------

「確保できていない」が46.6%で最も多く、次いで「確保できているが、負担感が大きい」が31.9%、「確保できているが、負担感が多少ある」が16.4%と続いています。

図表 7-8-1 人材確保の状況と負担感について

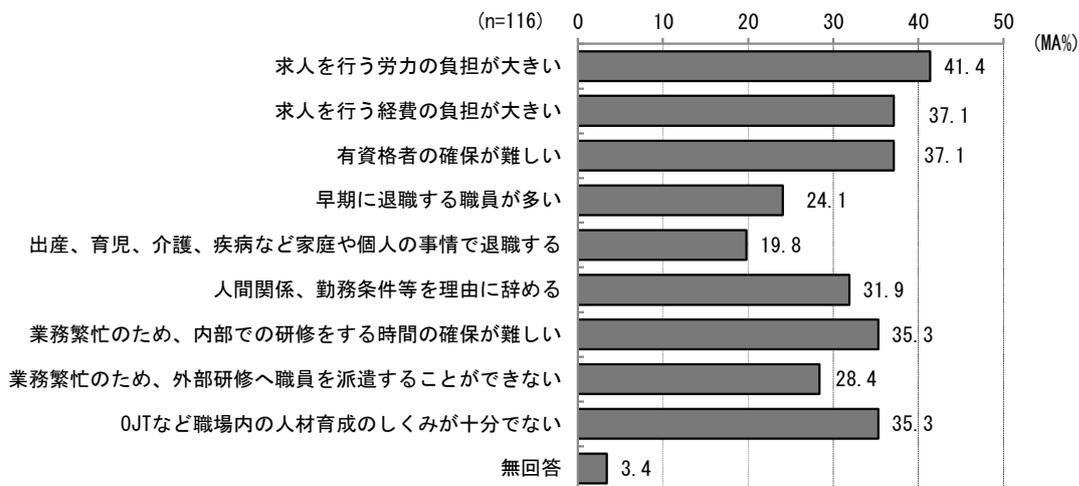


(2) 人材確保・定着・育成に関する課題

問29	人材確保・定着・育成に関して、課題があると感じていることはありますか。	複数回答
-----	-------------------------------------	------

「求人を行う労力の負担が大きい」が41.4%で最も多く、次いで「求人を行う経費の負担が大きい」・「有資格者の確保が難しい」が37.1%と続いています。

図表 7-8-2 人材確保・定着・育成に関する課題



【参考】前回調査結果

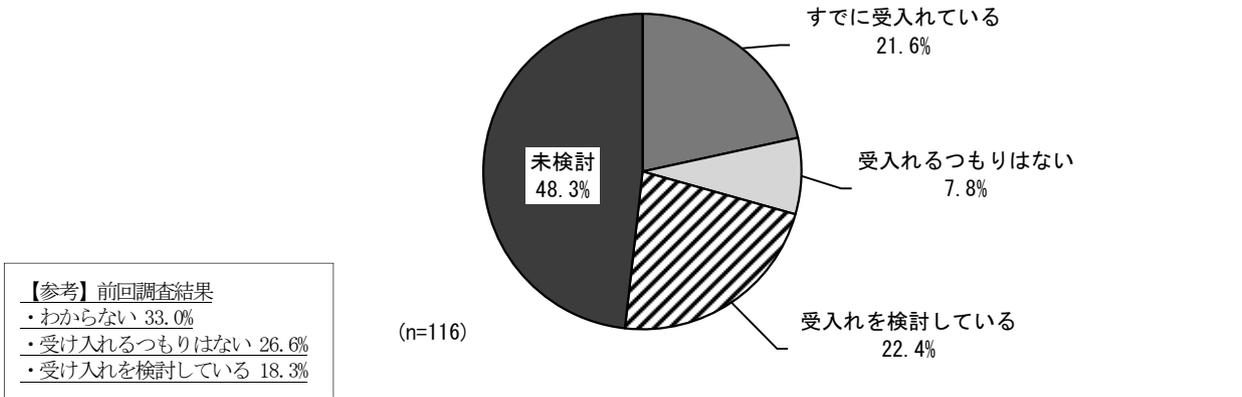
- ・新卒者の確保が難しい 75.2%
- ・有資格者など質の高い人材の確保が難しい 67.0%
- ・求人を行う労力、経費の負担が大きい 45.9%

(3) 外国人人材の受入れ状況

問30	貴施設における外国人人材の受入れ状況	単一回答
-----	--------------------	------

「未検討」が48.3%で最も多く、次いで「受入れを検討している」が22.4%、「すでに受入れている」が21.6%と続いています。

図表 7-8-3 外国人人材の受入れ状況

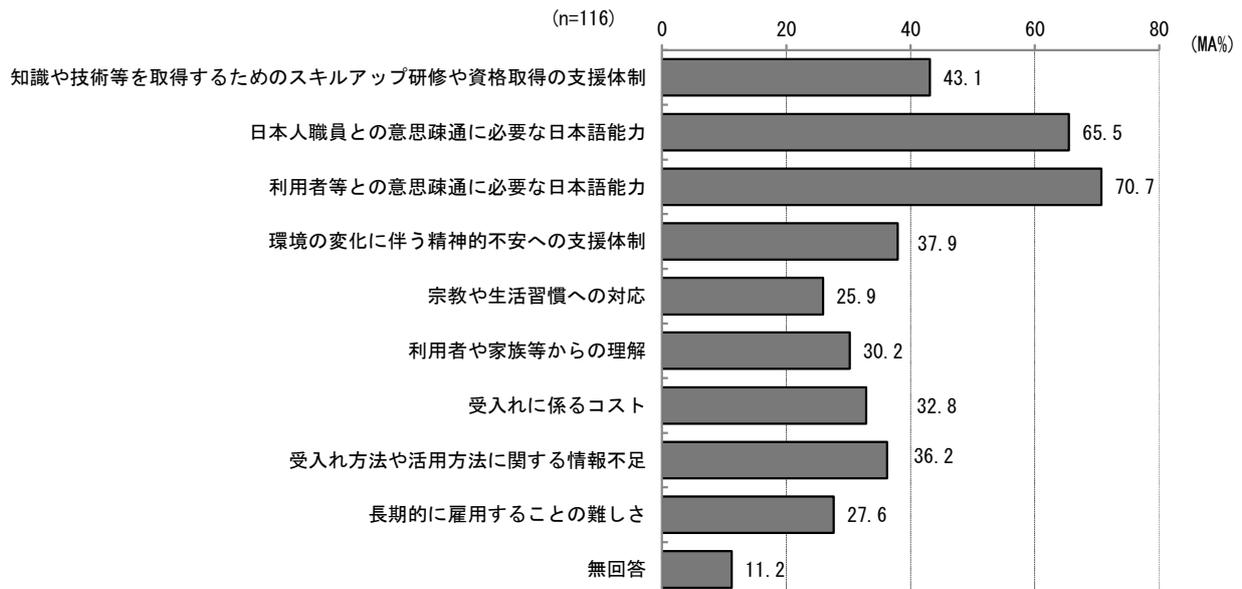


(4) 外国人人材の受入れにあたっての課題

問31	外国人人材を受入れるにあたっての課題	複数回答
-----	--------------------	------

前回同様「利用者等との意思疎通に必要な日本語能力」が70.7%で最も多く、次いで「日本人職員との意思疎通に必要な日本語能力」が65.5%、「知識や技術を取得するためのスキルアップ研修や資格取得の支援体制」が43.1%と続いています。

図表 7-8-4 外国人人材の受入れにあたっての課題



【参考】前回調査結果

- ・利用者等との意思疎通に必要な日本語能力 70.6%
- ・日本人職員との意思疎通に必要な日本語能力 66.1%
- ・知識や技術を取得するためのスキルアップ研修や資格取得の支援体制 47.7%

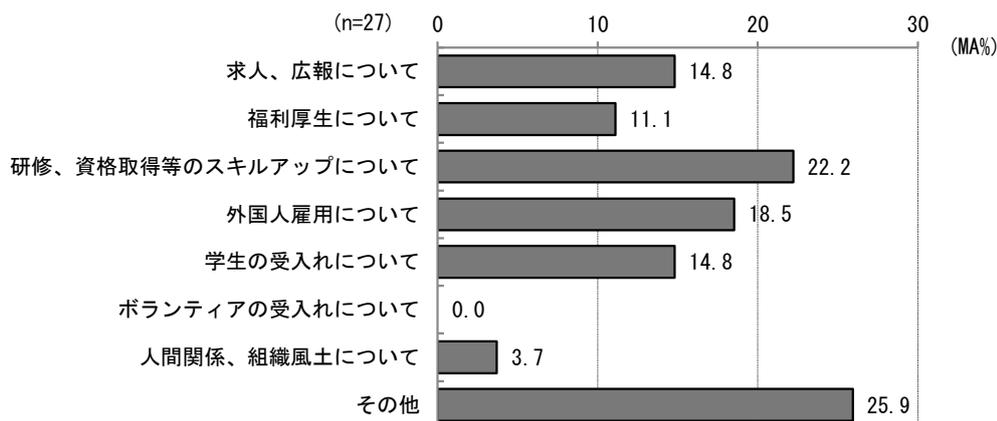
(5) 人材確保・定着・育成全般についての意見や取り組み

問32	人材確保・定着・育成全般について、ご意見や取り組まれていること	自由記述
-----	---------------------------------	------

「その他」が25.9%で最も多く、次いで「研修、資格取得等のスキルアップについて」が22.2%、「外国人雇用について」が18.5%と続いています。

図表 7-8-5 人材確保・定着・育成全般についての意見や取り組み

総数	自由記述有	自由記述無
116	27(23.3%)	88(76.7%)



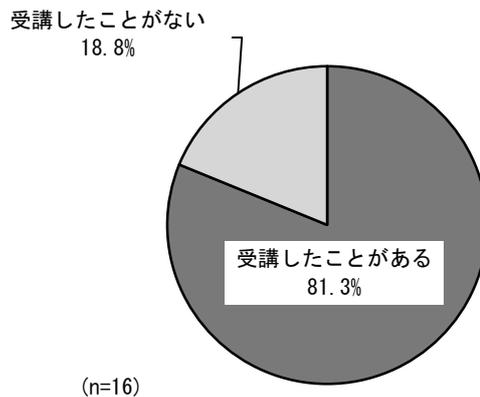
- ・なかなか応募が無い。
- ・ホームページでの案内及びSNSの利用等において社内の宣伝。
- ・新人研修や中途採用者への研修への参加。
- ・職員への知り合いの紹介等。
- ・施設内外の研修に取り組んでいるが、コロナの関係で外部講師での研修はできていない。オンラインでの研修は参加しやすく、今後も取り入れていきたい。
- ・処遇改善は人材確保に有効だと思っています。人材育成の仕組みの確立が難しい。

(6) 研修の受講

問33①	問1で「1. 大阪市内」に○をつけた施設におたずねします。 本市では、施設に対して、研修を実施しておりますが、受講したことがありますか。	単一回答
------	---	------

「受講したことがある」が81.3%で最も多く、次いで「受講したことがない」が18.8%と続いています。

図表 7-8-6 研修の受講



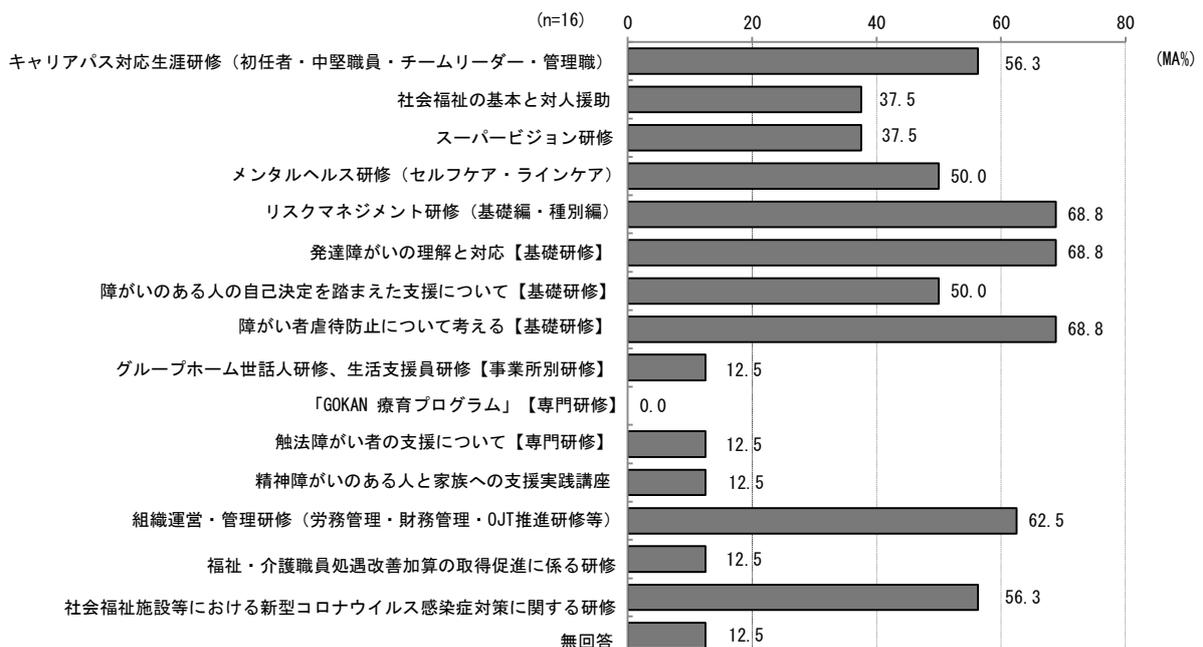
※関連ページ情報
・119p 記載（調査票B：問10①）

(7) 受講してみたい研修

問33②	問1で「1. 大阪市内」に○をつけた施設におたずねします。 今後受講してみたい研修	複数回答
------	--	------

「リスクマネジメント研修（基礎編・種別編）」・「発達障がいの理解と対応」・「障がい者虐待防止について考える」が68.6%で最も多くなっています。

図表 7-8-7 受講してみたい研修



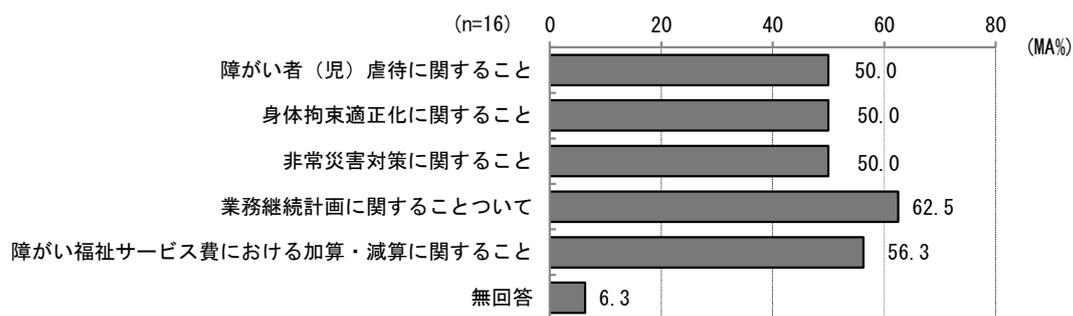
※関連ページ情報
・120p 記載（調査票B：問10②）

(8) 研修で取り上げてほしいテーマ

問34	問1で「1. 大阪市内」に○をつけた施設におたずねします。 今後の研修で取り上げてほしいテーマ	複数回答
-----	--	------

「業務継続計画に関することについて」が62.5%と最も多く、次いで「障がい福祉サービス費における加算・減算に関すること」56.3%、「障がい者（児）虐待に関すること」・「身体拘束適正化に関すること」・「非常災害対策に関すること」が50.0%と続いています。

図表 7-8-8 研修で取り上げてほしいテーマ



※関連ページ情報
・120p 記載（調査票B：問11）

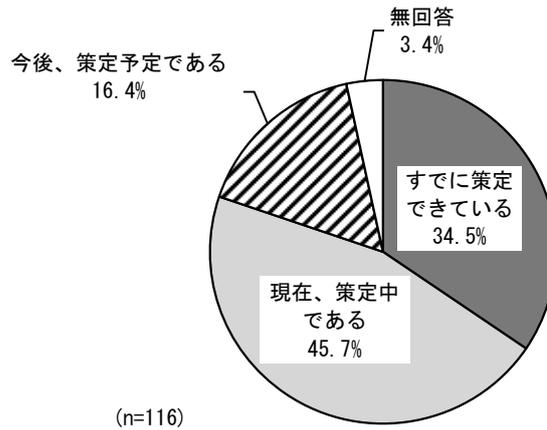
9. 施設の運営について

(1) 業務継続計画（BCP）の策定

問35① 貴施設では、すでに業務継続計画（BCP）を策定していますか。	単一回答
--	-------------

「現在、策定中である」が45.7%で最も多く、次いで「すでに策定できている」が34.5%、「今後、策定予定である」が16.4%と続いています。

図表 7-8-9 業務継続計画（BCP）の策定



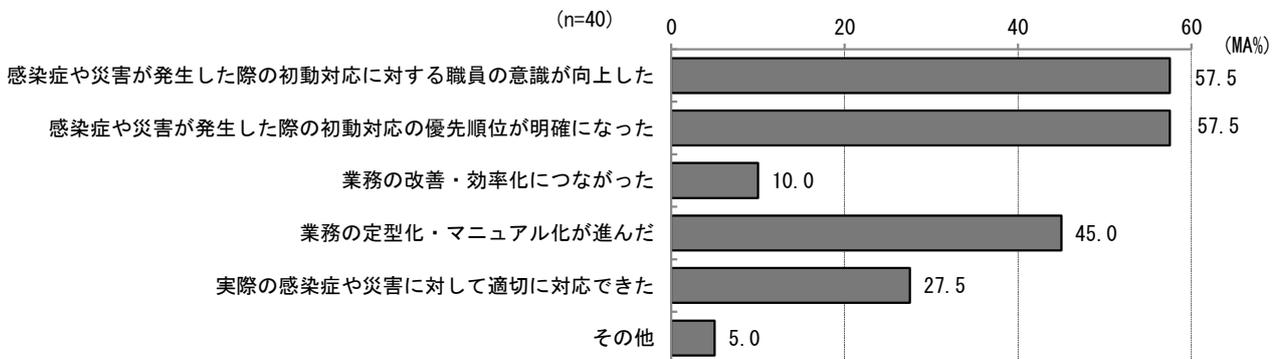
※関連ページ情報
・132p 記載（調査票B：問23①）

(2) 業務継続計画（BCP）の策定による効果

問35② 前問①で「1. すでに策定できている」に○をつけた施設におたずねします。策定による効果	複数回答
---	-------------

「感染症や災害が発生した際の初動対応に対する職員の意識が向上した」・「感染症や災害が発生した際の初動対応の優先順位が明確になった」が57.5%で最も多く、次いで「業務の定型化・マニュアル化が進んだ」が45.0%と続いています。

図表 7-8-10 業務継続計画（BCP）の策定による効果



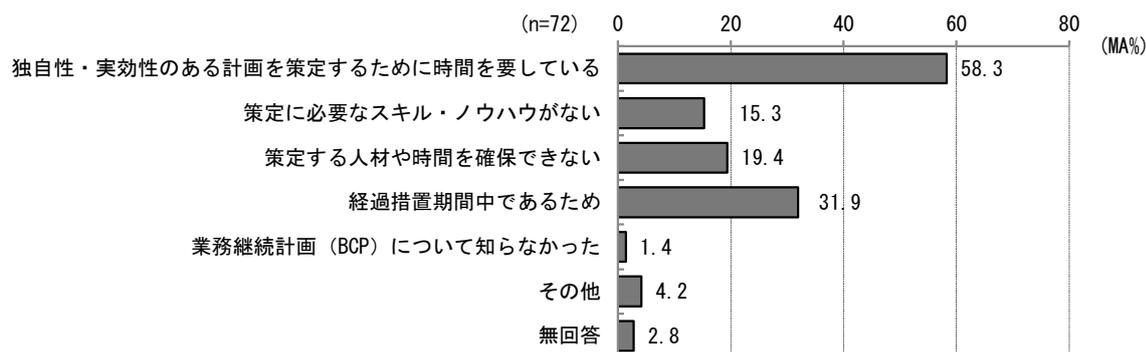
※関連ページ情報
・133p 記載（調査票B：問23②）

(3) 業務継続計画（BCP）の策定できていない理由や課題

問35③	前問①で「2. 現在策定中である」または「3. 今後策定予定である」に○をつけた施設におたずねします。 策定できていない理由や課題となっていること	複数回答
------	--	------

「独自性・実効性のある計画を策定するために時間を要している」が58.3%で最も多く、次いで「経過措置期間中であるため」が31.9%、「策定する人材や時間を確保できない」が19.4%と続いています。

図表 7-8-11 業務継続計画（BCP）の策定できていない理由や課題



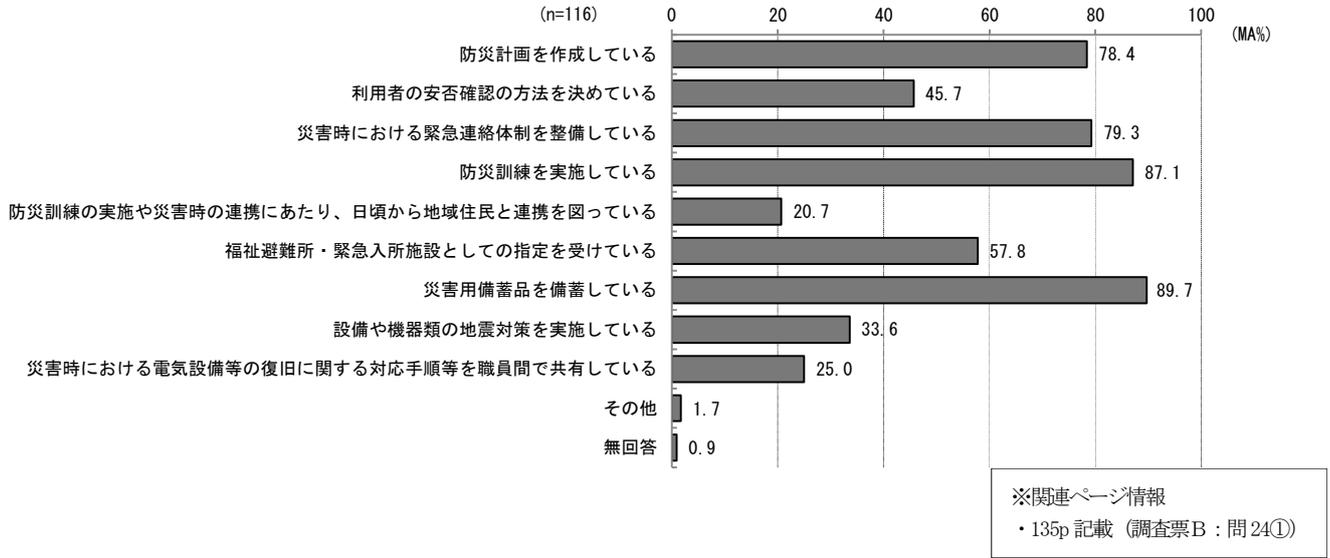
※関連ページ情報
・134p 記載（調査票B：問23③）

(4) 災害時の備えの取り組み

問36① 災害時の備えとして、貴施設で取り組んでいることはありますか。 **複数回答**

「災害用備蓄品を備蓄している」が89.7%で最も多く、次いで「防災訓練を実施している」が87.1%、「災害時における緊急連絡体制を整備している」が79.3%と続いています。

図表 7-8-12 災害時の備えの取り組み



	n	防災計画を作成している	利用者の安否確認の方法を決めている	災害時における緊急連絡体制を整備している	防災訓練を実施している	防災訓練の実施や災害時の連携にあたり、日頃から地域住民と連携を図っている	福祉避難所・緊急入所施設としての指定を受けている	災害用備蓄品を備蓄している	設備や機器類の地震対策を実施している	災害時における電気設備等の復旧に関する対応手順等を職員間で共有している	その他	実施していない	無回答
全体	116	78.4	45.7	79.3	87.1	20.7	57.8	89.7	33.6	25.0	1.7	0.0	0.9
問35① 業務継続計画(BCP)の策定	すでに策定できている	40	82.5	55.0	90.0	27.5	65.0	92.5	42.5	25.0	2.5	0.0	0.0
	現在、策定中である	53	83.0	45.3	77.4	86.8	20.8	60.4	86.8	28.3	30.2	0.0	0.0
	今後、策定予定である	19	57.9	31.6	63.2	84.2	10.5	47.4	94.7	26.3	10.5	5.3	5.3

(5) 災害時の備えの取り組みを実施していない理由

問36②	前問①で「11. 実施していない」に○をつけた施設にお聞きします。 その理由	自由記述
------	---	------

問36①の回答で「実施していない」が0.0%、回答者は0となっています。

図表 7-8-13 災害時の備えの取り組みを実施していない理由

総数	自由記述有	自由記述無
0	0	0

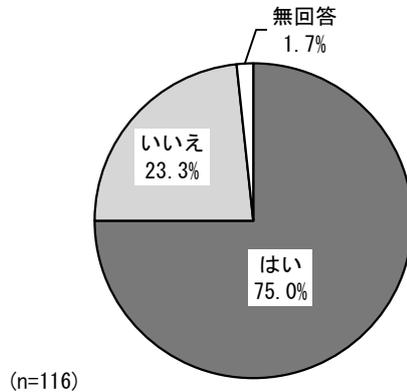
※関連ページ情報
・136p 記載（調査票B：問24②）

(6) 新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者に対してのサービスの提供

問37	令和2年の新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、貴施設において、陽性者または濃厚接触者に対してサービスの提供を行ったことがありますか。	単一回答
-----	---	------

「はい」が75.0%で最も多く、次いで「いいえ」が23.3%と続いています。

図表 7-8-14 新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者に対してのサービスの提供



※関連ページ情報
・137p 記載（調査票B：問25）

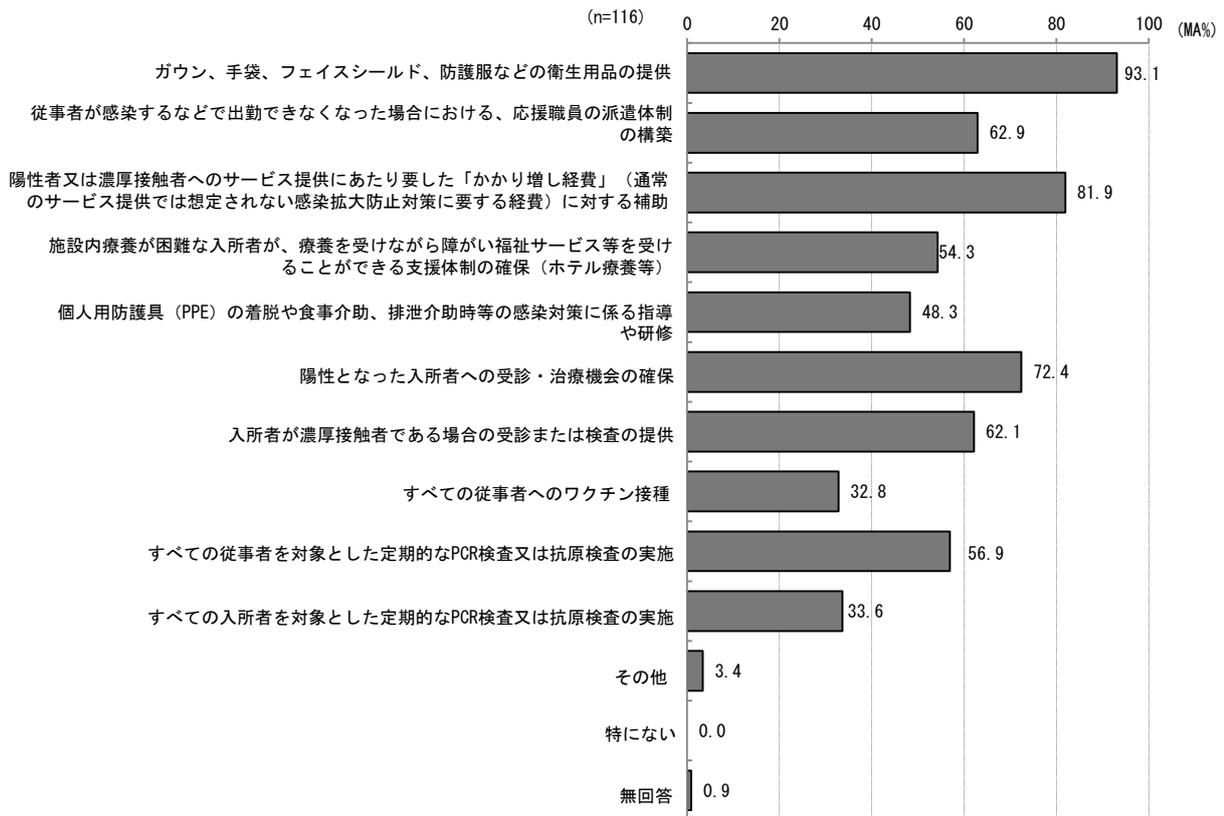
		n	はい	いいえ	無回答
全体		116	75.0	23.3	1.7
問35① 業務継続計画(BCP)の 策定	すでに策定できている	40	70.0	30.0	0.0
	現在、策定中である	53	75.5	20.8	3.8
	今後、策定予定である	19	84.2	15.8	0.0

(7) コロナ禍で提供される行政の支援策で必要と考えるもの

問38	コロナ禍で提供される行政による支援策のうち、貴施設が、障がいのある方に対する支援を継続するうえで必要と考えるもの	複数回答
-----	---	------

「ガウン、手袋、フェイスシールド、防護服などの衛生用品の提供」が93.1%で最も多く、次いで「陽性者又は濃厚接触者へのサービス提供にあたり要した「かかり増し経費」（通常のサービス提供では想定されない感染拡大防止対策に要する経費）に対する補助」が81.9%、「陽性となった入所者への受診・治療機会の確保」が72.4%と続いています。

図表 7-8-15 コロナ禍で提供される行政の支援策で必要と考えるもの



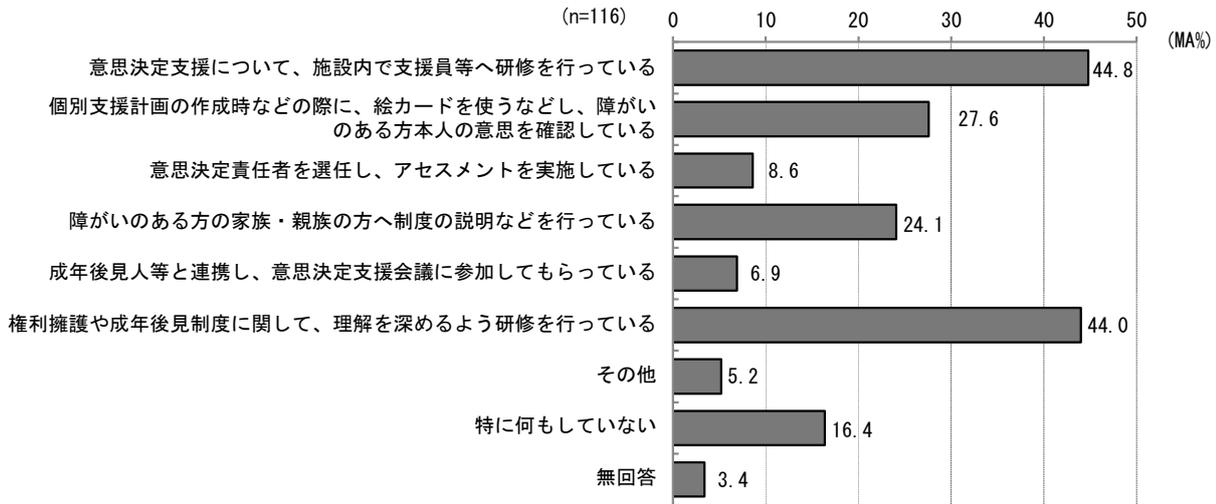
※関連ページ情報
 ・138p 記載（調査票B：問26）

(8) 意思決定支援に関して

問39	障がいのある方の意思決定支援について、貴施設ではどのように取り組まれていますか。	複数回答
-----	---	------

「意思決定支援について、施設内で支援員等へ研修を行っている」が44.8%で最も多く、次いで「権利擁護や成年後見制度に関して、理解を深めるよう研修を行っている」が44.0%、「個別支援計画の作成時などの際に絵カードを使うなどし、障がい者本人の意思を確認している」が27.6%と続いています

図表 7-8-16 意思決定支援に関して

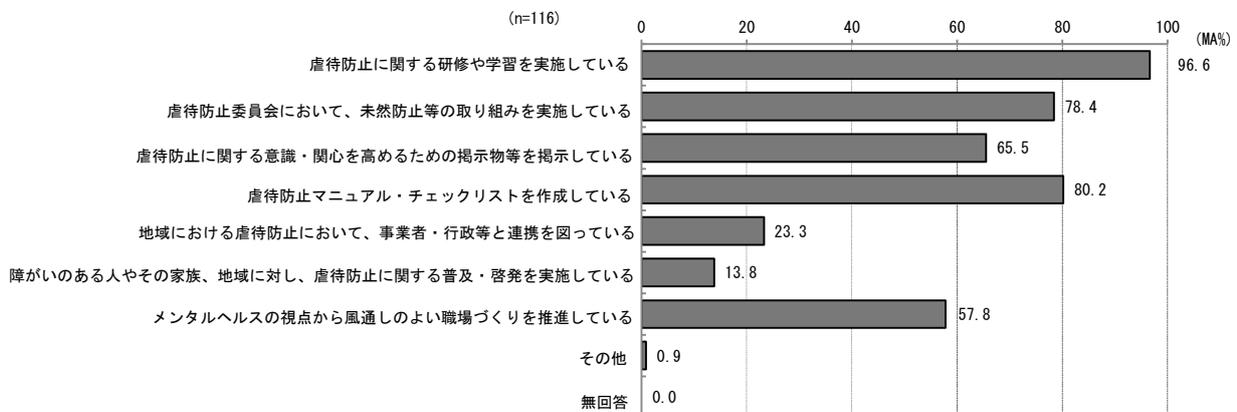


(9) 虐待防止に向けての取り組み

問40①	障がい者（児）虐待防止に向けて取り組んでいる内容	複数回答
------	---------------------------------	------

「虐待防止に関する研修や学習を実施している」が96.6%で最も多く、次いで「虐待防止マニュアル・チェックリストを作成している」が80.2%、「虐待防止委員会において、未然防止等の取り組みを実施している」が78.4%と続いています。

図表 7-8-17 虐待防止に向けての取り組み



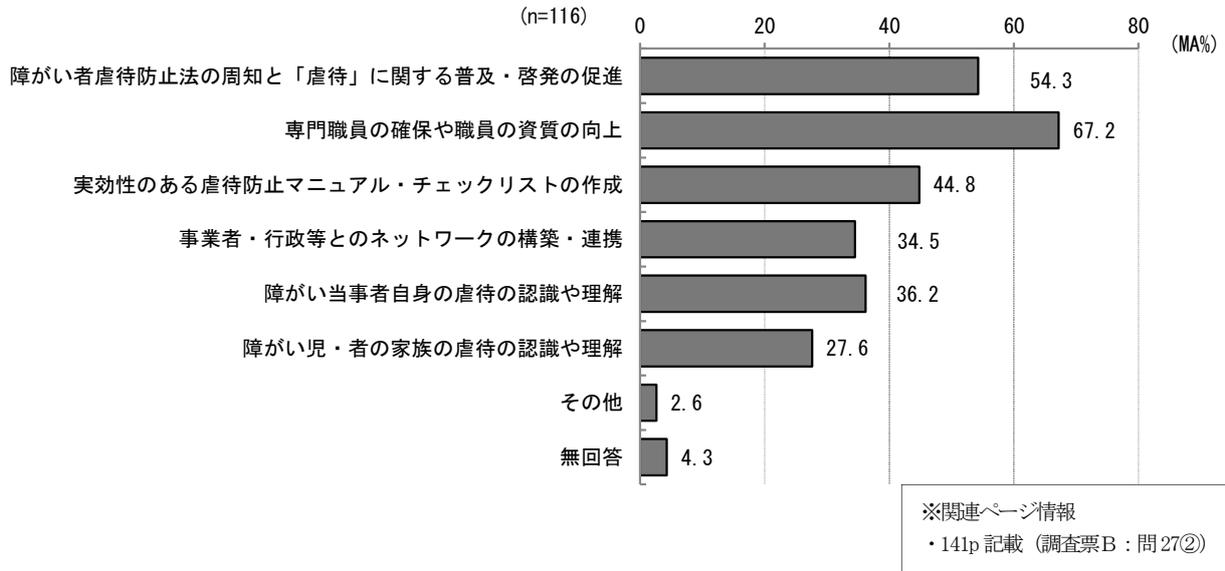
※関連ページ情報
・140p 記載 (調査票B：問27①)

(10) 虐待防止に向けての取り組みの課題

問40②	障がい者（児）虐待防止に向けた取り組みを行う上での課題	複数回答
------	-----------------------------	------

「専門職員の確保や職員の資質の向上」が67.2%で最も多く、次いで「障がい者虐待防止法の周知と「虐待」に関する普及・啓発の促進」が54.3%、「実効性のある虐待防止マニュアル・チェックリストの作成」が44.8%と続いています。

図表 7-8-18 虐待防止に向けての取り組みの課題

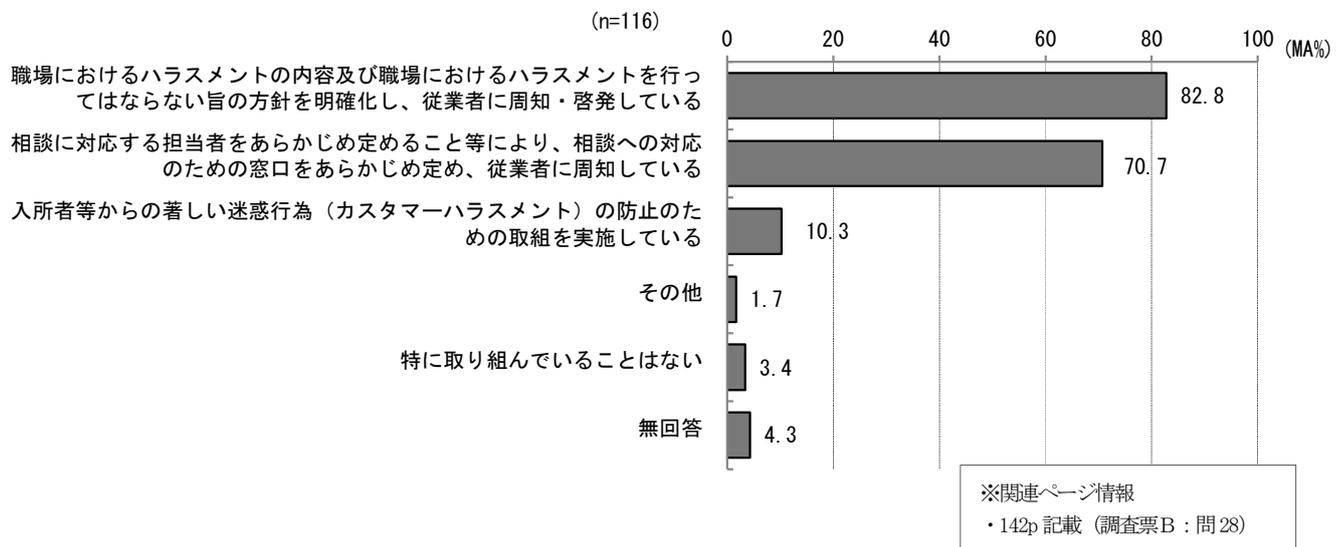


(11) ハラスメント対策の取組状況

問41	貴施設におけるハラスメント対策の取組状況	複数回答
-----	----------------------	------

「職場におけるハラスメントの内容及び職場におけるハラスメントを行ってはならない旨の方針を明確化し、従業者に周知・啓発している」が82.8%で最も多く、次いで「相談に対応する担当者をあらかじめ定めること等により、相談への対応のための窓口をあらかじめ定め、従業者に周知している」が70.7%、「入所者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）の防止のための取組を実施している」が10.3%と続いています。

図表 7-8-19 ハラスメント対策の取組状況

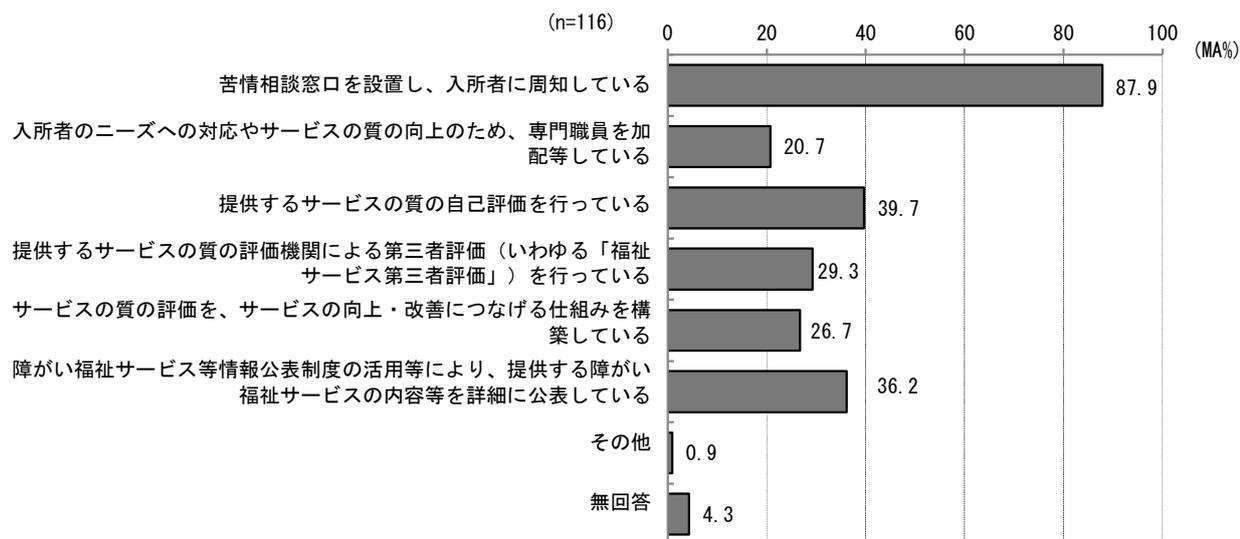


(12) 障がい福祉サービスの質の向上のための取り組み

問42	障がい福祉サービスの質の向上のために貴施設で取り組んでいる内容	複数回答
-----	---------------------------------	------

「苦情相談窓口を設置し、入所者に周知している」が87.9%で最も多く、次いで「提供するサービスの質の自己評価を行っている」が39.7%、「障がい福祉サービス等情報公表制度の活用等により、提供する障がい福祉サービスの内容等を詳細に公表している」が36.2%と続いています。

図表 7-8-20 障がい福祉サービスの質の向上のための取り組み



※関連ページ情報
・143p 記載（調査票B：問29）

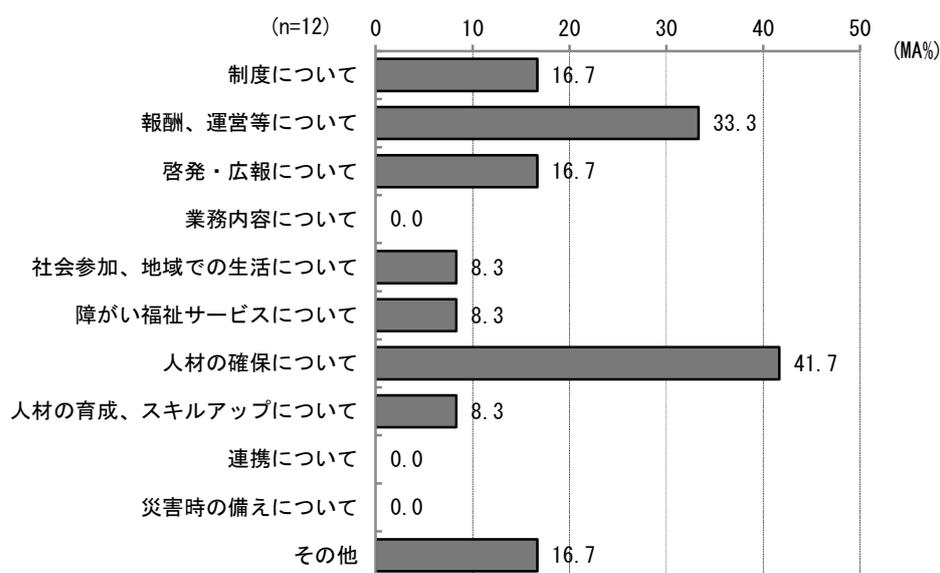
(13) 障がい者施策全般についての意見

問43	障がい者施策全般についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
-----	---------------------------------------	------

「人材の確保について」が41.7%で最も多く、次いで、「報酬、運営等について」が33.3%、「制度について」・「啓発・広報について」・「その他」が16.7%と続いています。

図表 7-8-21 障がい者施策全般についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
116	12 (23.3%)	88 (76.7%)



- ・コロナ対策やサービス提供にあたり要した「かかり増し経費」が施設運営を圧迫しているので補助をお願いしたい。物価高で経費がかさんでいるので補助をお願いしたい。
- ・人手不足の対策として処遇改善（特に給与アップ）を検討してほしい。
- ・障がいのある人もない人もある人も芝生型の社会を作るためには、バックアップ施設としての入所施設の機能拡充が必要。現在の職員配置基準も不十分で、利用者の社会参加やそのための生活支援をきめ細かく進めていくためには、更なる拡充が必要。行政の政策立案時には、その点を充分意見を反映できるような仕組みづくりを進めていただきたい。

※401 ページ、第11章（3）に、全調査票をまとめたコメントを掲載しています。